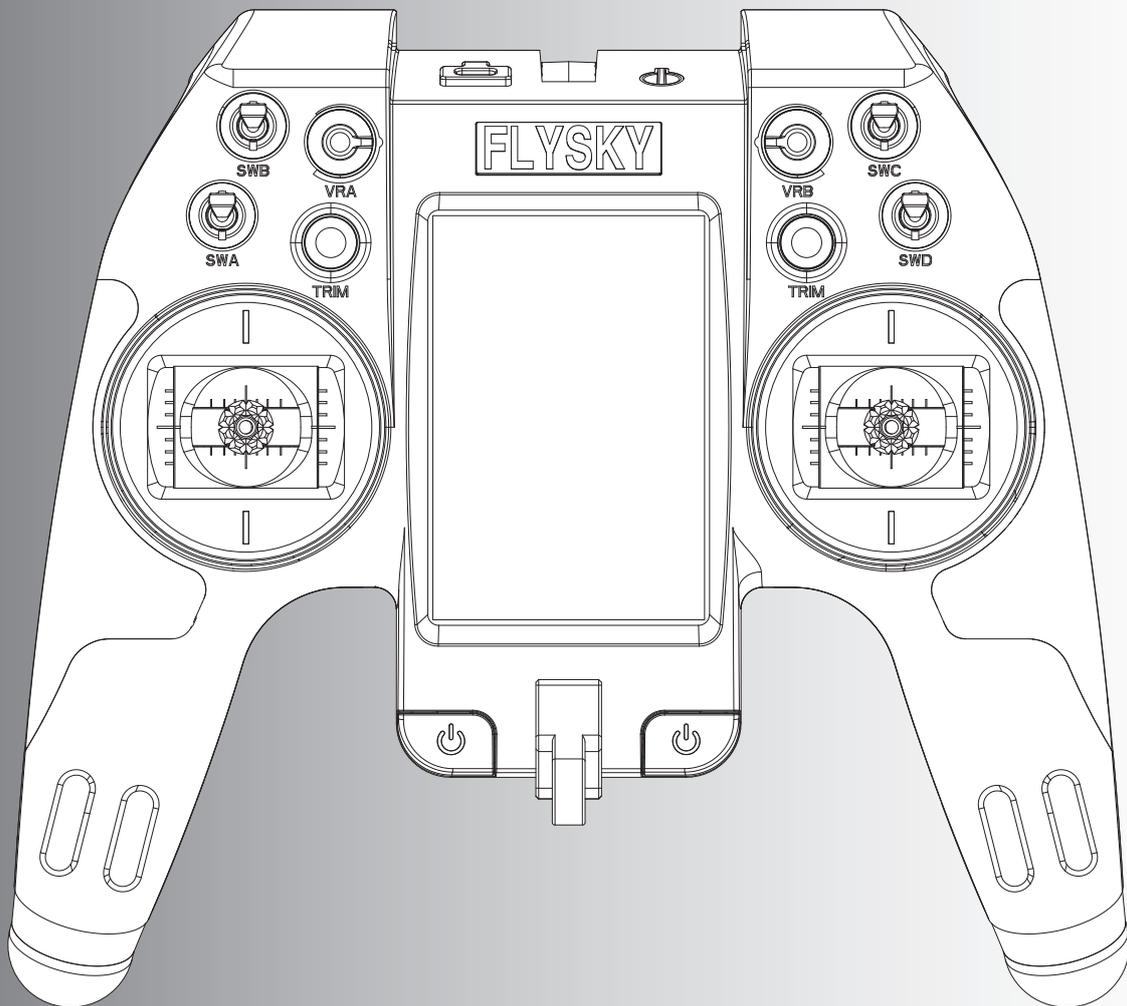




# Nirvana NV14

取扱説明書



---

**このたびは、FLYSKY NV14 Nirvana TX/RXをお買い上げいただき、ありがとうございます。**

この取扱説明書は、FLYSKY NV14 Nirvana TX/RX を安全に正しくご使用いただくために、取り扱いに関する手順、要領および注意事項などについて説明しています。本機の性能を十分発揮させるために、ご使用になる前には本書を良くお読みになり、正しくお取り扱いいただくようお願い申し上げます。なお、本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。

●**2.4GHzシステム使用上の注意**

- 1:FLYSKY NV14 Nirvana TX/RXは2.4GHz帯周波数を使用し、混信防止機能を備えていますが、万が一の事を考えて周囲の安全を確保してください。
- 2:2.4GHzはR/C以外の機器にも使用されています。電子レンジ、無線LAN、Bluetooth、デジタルコードレス電話、ISMバンドなどに使用されているので都市部ではプロポの動作に影響が出る場合があります。使用する際は周囲の環境に注意し、必ず動作確認をおこない安全を確認してからお楽しみください。
- 3:同一場所での走行の際、同時に使用する2.4GHzプロポの台数を15台以内にしてください。
- 4:FLYSKY NV14 Nirvana TX/RXの電波到達距離は上空で約400mで設計されています。その範囲内で飛行をお楽しみください。

●**2.4GHz送信機操作上の注意**

- 1:送信機のアンテナは指向性が高く電波が弱くなる方向があります。アンテナの先端が向いている方向が最も電波が弱くなりますのでアンテナを車体に向けないでください。
- 2:送信機のアンテナを持ったり金属クリップをつけないでください。

●**2.4GHz受信機搭載時の注意**

- 1:受信機のアンテナは切断したり半田付けで延長しないでください。

海外での使用に関するご注意

1. 模型用以外に使用しないでください。  
本説明書に記載されている製品は、日本国内の電波法で、用途が模型用に限定されております。
2. 海外で使用する際のご注意  
本製品を海外で使用する場合、使用する国の電波法で認可されていないと使用することはできません。

改造、調整、部品交換した場合のご注意

本製品を弊社以外で改造、調整、部品交換などの手が加えられた場合、一切の責任を負いかねます。

Nirvana NV14付属物

- ・送信機
- ・X8Bデュアルアンテナ受信機（PPM/i-BUS/S-BUS方式）
- ・IA8X小型受信機（PPM/i-BUS/S-BUS方式）
- ・保護カバー
- ・データライン用USBケーブル
- ・トレーナー用ケーブル
- ・脱着式RFモジュール用アダプター

## 目次

● 安全について	4	● システム設定について	23
安全表記	4	システム設定画面	23
バッテリー警告	5	モデルセレクト画面	23○
● 製品概要	6	モニター画面	24○
システムの特徴	6	リセット画面	24
Open TX	6	データロガー画面	24
概要	7	● モデル設定について	25
送信機	7	セットアップ	25○
受信機	9	ヘリセットアップ	28
アンテナ	9	フライトモード	29
● ご使用の前に	10	入力	29○
送信機バッテリーの取り付け	10	ミキサー	31○
受信機の取り付け	10	出力	32○
RFモジュールアダプター	11	出力カーブ	33
● 操作説明	12	ロジカルスイッチ	33
電源の入れ方	12	特殊機能	34
バインディングの仕方	12	カスタムスクリプト	35
飛行前の確認	13	テレメトリー	35
電源の切り方	13	● 送信機の設定について	37
ネクストラップ用アダプターの		送信機の設定画面	37○
脱着とSDカードの差込方法	13	SD-HC CARDの画面	40
アップデート方法 (Windowsの場合)	14	グローバルファンクションの画面	41
アップデート方法 (Macの場合)	17	ハードウェアの画面	42
左右のジンバル交換方法	20	キャリブレーションの画面	43○
● 製品仕様	21	バージョンの画面	43○
Nirvanaの仕様	21	● UI設定について	44
FS-X8Bの仕様	21	ユーザインタフェース	44
FS-iA8Xの仕様	21		
● 画面表示について	22		
メイン画面	22		

※“○”印は送信機の設定の基本項目となります。

# 安全について

日本国内では航空法にしたがって安全に無線操縦模型をお楽しみください。また、下記注意事項もよくお読みください。

## 安全表記

次のシンボルマークが持つ意味を十分に理解し、その内容に従ってください。これらの警告に従わないと、破損、けが、または死亡の原因となる可能性があります。

	<b>危険</b> これらの指示に従わなかった場合、死亡事故又は重傷を負う可能性があります。
	<b>警告</b> これらの指示に従わなかった場合、重傷を負う可能性があります。
	<b>注意</b> これらの指示に従わなかった場合、軽傷を負う可能性があります。



**禁止**



**強制**



夜間や雨、雷雨のような悪天候の時は使用しないでください。誤動作や制御不能の原因となります。

視界の悪い環境で、本製品を使用しないでください。

雨や雪の日に本製品を使用しないでください。湿気（水や雪）にさらされると、動作が不安定になったり、制御不能になることがあります。

電波干渉によって制御不能になることがあります。ご自身や周囲の人々の安全を確保するために、次の場所で操作しないでください。

\*他の無線通信の可能性がある場所の近く

\*電線または放送通信アンテナ付近

\*人や道路の近く

\*客船運航の水域

疲れていたり、気分が優れない状態や、またはアルコールや薬物の影響下でこの製品を使用しないでください。ご自身や他の人々に重大な傷害を与える可能性があります。

2.4GHz無線帯域は見通し可能な範囲に制限されています。大きな物体がRF信号を遮って制御不能になる可能性があるため、常にモデルが視界に入るようにしてください。

操作中に送信機のアンテナを絶対に握らないでください。信号品質や強度が著しく低下し、制御が失われる可能性があります。

操作中、または使用直後に発熱する部分には触れないでください。エンジン、モーター、スピードコントローラーは非常に熱くなり、重度の火傷を負う可能性があります。



この製品を誤って使用すると、重傷を負ったり死亡する恐れがあります。ご自身と装置の安全を確保するために、このマニュアルを読み、指示に従ってください。

製品がモデルに正しく取り付けられていることを確認してください。そうしないと、重傷を負う可能性があります。

送信機の電源を切る前に、必ず受信機のバッテリーを外してください。そうしないと、誤動作により事故の原因となる可能性があります。

すべてのモーターが正しい方向に動作していることを確認してください。そうでない場合は、最初に方向を調整してください。

モデルが一定の距離内で飛行することを確認してください。そうでないと、制御不能の原因になります。

NV14システムはOpenTxオープンソースファームウェアを使用しています。最新情報は、随時京商の公式ウェブサイトに更新されます。

変更又は非公式のファームウェアを使用すると、制御不能になる可能性があります。

当社は、非公式のファームウェアによって引き起こされた制御不能、システム情報やその他の損失の責任を負いません！

## バッテリー警告

下記注意事項を守らないとバッテリーが発火し火災を起こします。

---



損傷、経年劣化、液漏れなどの異常があるバッテリーは使用しないでください。  
バッテリーをショートさせないでください。  
バッテリーを修理したり、改造したり、分解したり、つぶしたり、穴をあけたりしないでください。  
水につけないでください。  
バッテリーを高温または直射日光の当たる場所で充電または保管しないでください。  
バッテリーは涼しく乾燥した場所に保管してください。  
以下の条件では充電しないでください。  
\* 覆われた場所又は換気が悪い場所  
\* 極寒または暑い場所  
可燃性ガスや液体の周囲では使用しないでください。  
電源コードを曲げたり、伸ばしたり、引っ張ったりしないでください。  
\* 電源コードが火災、発熱、感電などによって損傷する可能性があります。

---



バッテリーは子供の手の届かない場所に保管してください。  
飛行する前に必ずバッテリーを充電してください。  
\* バッテリーが液漏れして、液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水で洗い流してください。  
目に入った場合は直ちに洗い流してください。必要に応じて医師の診察を受けてください。  
長期間使用しないときは、送信機からバッテリーを取り外して乾燥した場所に保管してください。  
使用済みのバッテリーをゴミ箱などに捨てないで、各地域で指定された処理方法に従って廃棄してください。  
メーカー指定のバッテリーのみを使用してください。  
バッテリーを落としたり、ぶついたり、振ったりしないように注意してください。  
バッテリーが損傷している場合は、直ちに使用を中止してください。  
リチウムイオンバッテリーは取扱いを間違えると発火します。バッテリーは必ず専用の充電器で正しく充電してください。

---

## 製品概要

NV14と呼ばれるNirvanaは、14チャンネル、3.5インチLCDカラータッチスクリーンの送信機です。(AFHDS 2A) 内蔵および外部RFモジュール。このシステムには、OpenTXファームウェアを搭載したFS-X8BおよびFS-iA8X受信機が付属しているので、FPV機にも最適なシステムとなります。NV14には内部と外部の2つのRFオプションがあり、内部RFは最大14チャンネルの出力をサポートします。外部RFは最大32チャンネルの出力をサポートします。

## システムの特徴

FLYSKYが特許を取得したAFHDS 2A（第2世代自動周波数ホッピングデジタルシステム）は、すべての無線操縦のモデル用に特別に開発しています。低消費電力と信頼性の高い受信感度を維持し、干渉を防止します。



### 双方向通信（テレメトリー）

データの送受信が可能で、送信機は温度や高度、その他の種類のセンサーからデータを受信できます。サーボのキャリブレーションとi-BUSサポートもできます。



### マルチチャンネルホッピング周波数

このシステム帯域幅は2.4055GHzから2.475GHzの範囲です。このバンドは140チャンネルに分かれています。各送信機は、他の送信機からの干渉を減らすために、16チャンネル（日本と韓国のバージョンでは32）の間でホップします。



### オムニアンテナ利得

高効率オムニアンテナ高利得は使用電力が少なく、又 高い接続信頼を維持しながら干渉を低減します。



### 固有ID認証システム

各送信機および受信機は固有のIDを持っています。送信機と受信機がペアリングすると、他のシステムが過って接続してきたり干渉してくる事を防止します。



### 低消費電力

システムは、非常に敏感な低消費電力コンポーネントを使用して構成されており、標準のFMシステムの10分の1の電力消費で、高い受信感度を維持し、バッテリーの寿命を劇的に延ばします。

## OpenTX



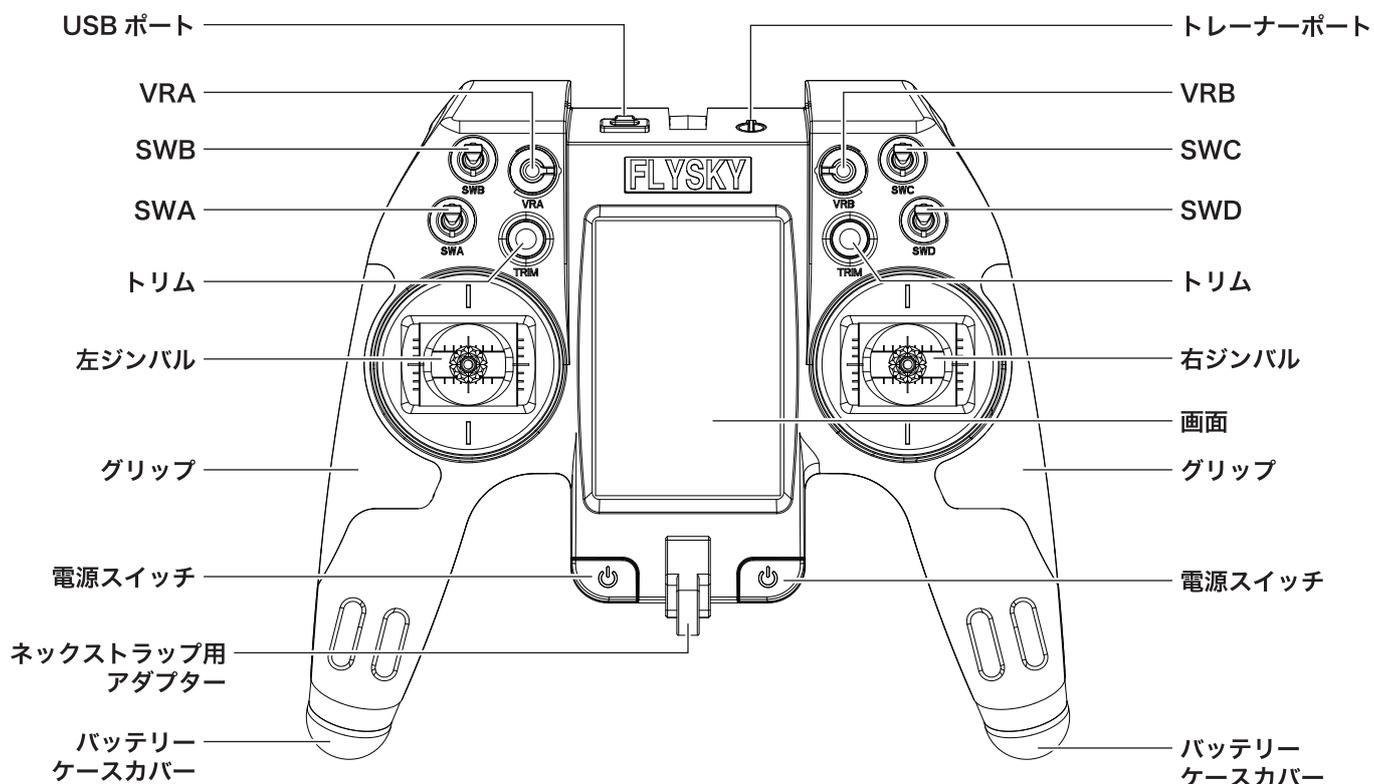
OpenTXはR/Cリモコン用のオープンソースオペレーティングシステムです。お客様のニーズに合わせてR/C送信機をより総合的かつ高度な設定ができます。詳細は、<http://www.open-tx.org/>を確認してください。

# 概要

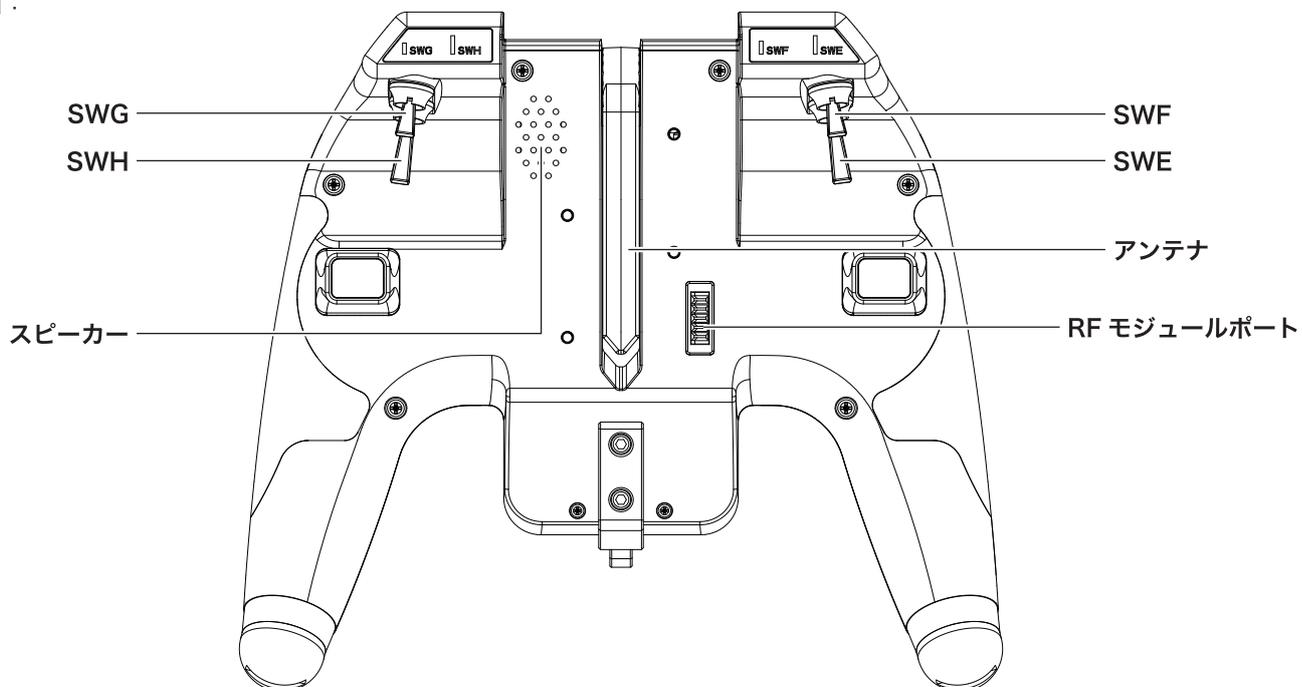
## 送信機

<各部名称>

前面：



裏面：



## スイッチ

USBポート	: 充電機能、シミュレータ、更新
VRA	: ノブ
VRB	: ノブ
SWA	: ショート2ポジション スイッチ
SWB	: ショート3ポジション スイッチ
SWC	: ショート2ポジション スイッチ
SWD	: ショート2ポジション スイッチ
SWE	: ロング2ポジション スイッチ
SWF	: ショート3ポジション スイッチ
SWG	: ショート3ポジション スイッチ
SWH	: ロング2ポジション スイッチ
トリム (左) / トリム (右)	: スロットル、ピッチ、ロールとヨー用のトリム
左ジンバル	: センターに自己復帰しない
右ジンバル	: センターに自己復帰する
トレーナーポート	: トレーナー機能用
RFモジュールポート	: 外部RFモジュール用
アンテナ	: 全方向性アンテナ、折りたたみ式

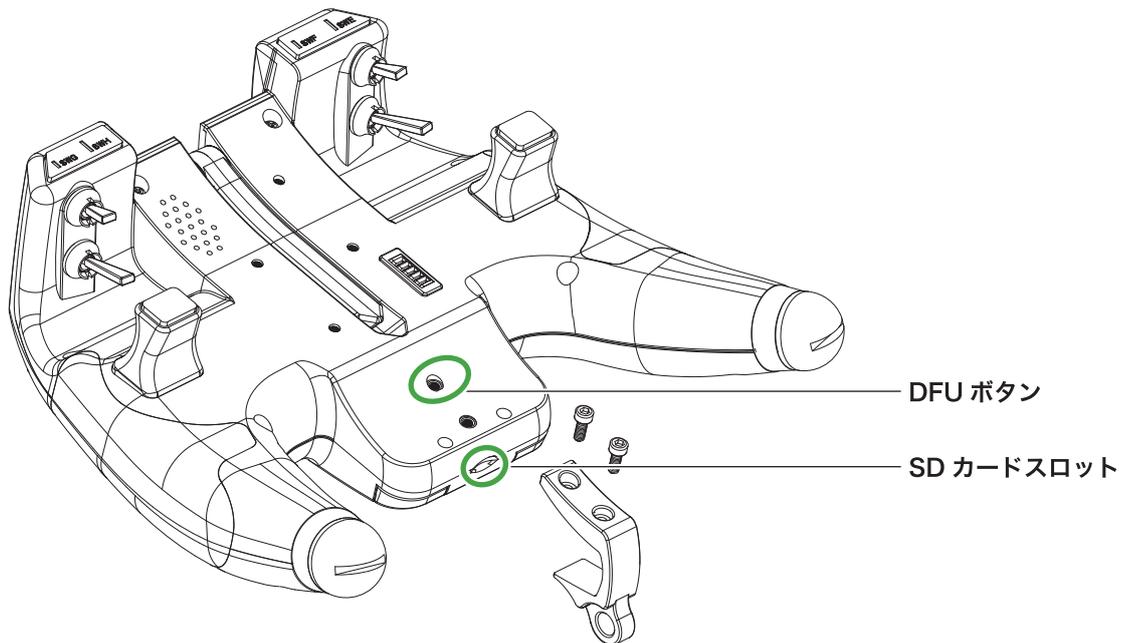
## DFUボタン

DFUボタンは、下の図の丸で囲まれたネジ穴にあります。

DFUボタンはNV14を更新するために使用します。

\*注意：内部構造への損傷を防ぐために、DFU機能ボタンを鋭利なものや金属製のものでも操作しないでください。

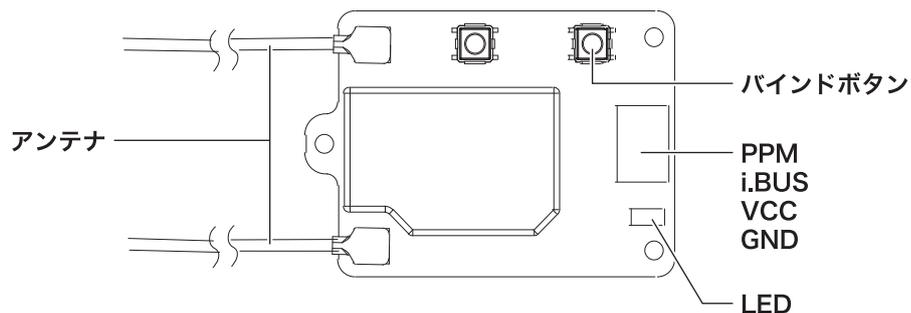
\*使用方法の詳細については、「更新プログラム」を参照してください。



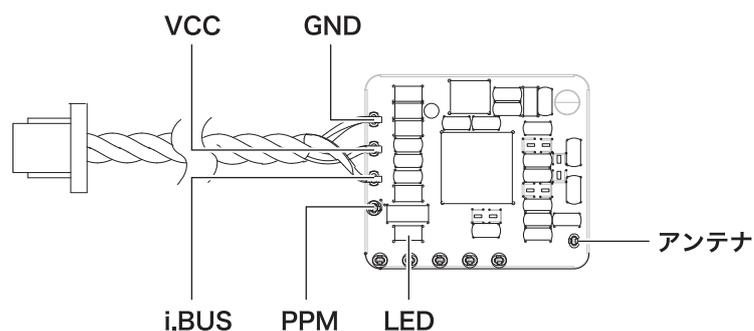
## 受信機

<各部名称>

FS-X8B



FS-iA8X



## アンテナ



**注意**

信号品質の低下を防ぐため、使用中はアンテナを触れないでください。



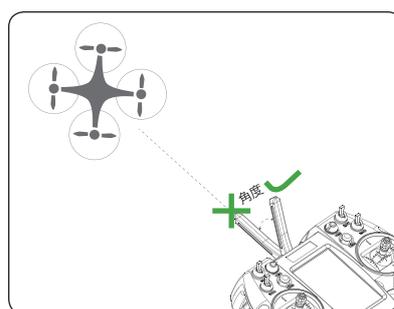
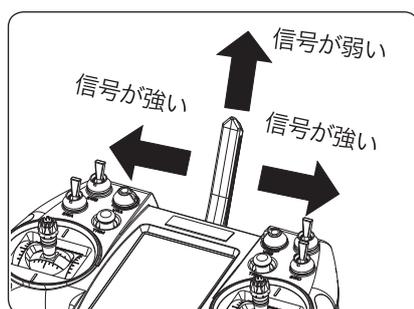
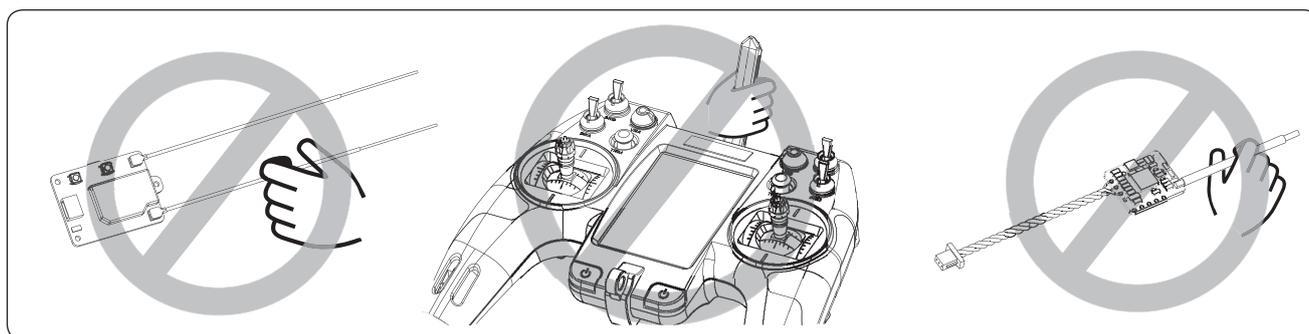
**注意**

信号品質を維持するために、アンテナはモデル本体に対して垂直にしてください。



**注意**

アンテナを引っ張ったり曲げたりしないでください。



## ご使用の前に

操作の前に、この説明書の指示に従ってバッテリーを取り付け、装置を接続してください。



**危険** メーカー指定のバッテリーのみを使用してください。



**危険** 自分でバッテリーを開けたり、分解したり、修理したりしないでください。



**危険** バッテリーの金属端子を強く握ったり、穴を開けたり、触れたりしないでください。



**危険** バッテリーを高温や液体にさらさないでください。



**危険** バッテリーを落としたり、ぶついたり、振ったりしないように注意してください。



**危険** 乾いた涼しい場所にバッテリーを保管してください。



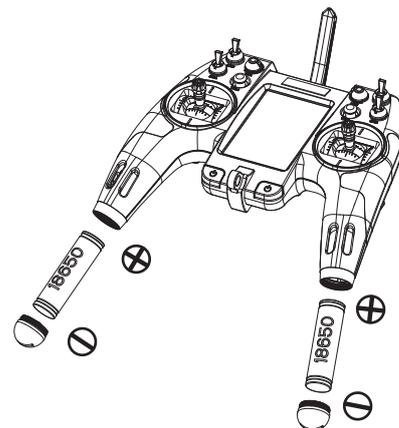
**危険** バッテリーが損傷している場合は、直ちに使用を中止してください。



**危険** バッテリーは必ず専用の充電器で正しく充電してください。

## 送信機バッテリーの取り付け

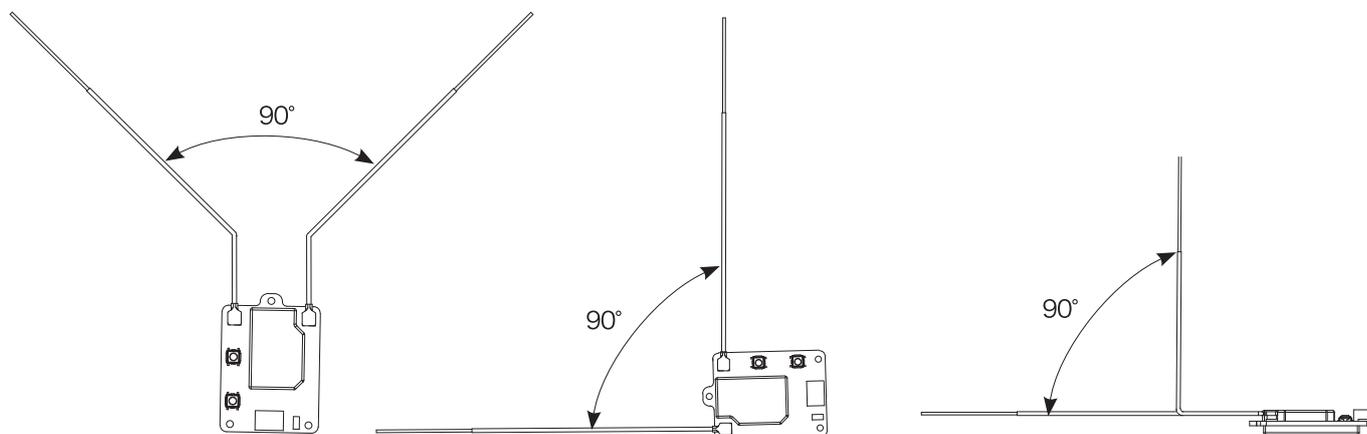
1. 2つのバッテリーケースカバーを外します。
2. 各グリップに1個ずつ、18650型リチウムイオン充電電池（別売）を入れます。  
\*電池を入れるときは右の図を参照して、電池の極性に注意してください。
3. バッテリーケースカバーを戻して、ネジで締め込んでください。



## 受信機の取り付け

取り付け

1. 受信機がモーターや、電子ガバナ、または過度の電気ノイズが発生する部品から離れて設置されていることを確認してください。
2. 受信アンテナは、金属棒やカーボンファイバーなどの導電性物質から遠ざけてください。  
受信機と導電性材料の間に少なくとも1 cmの隙間があることを確認してください。
3. 受信機の二つのアンテナが互いに90度に固定されていることを確認します(下図を参照)。

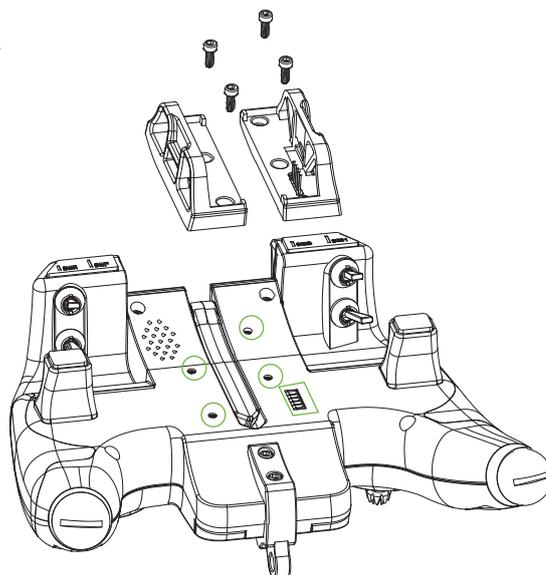


**注意** 損傷を防ぐため、この手順の間は受信機を電源に接続しないでください。

## RFモジュールアダプター

右の図のように、RFモジュール用に4つのネジ穴と1つのポートがあります。  
ネジ穴はモジュールアダプターを送信機に固定するために使用し、  
ポートはRFモジュールと送信機を接続する為に使用します。

アダプターのネジ穴を送信機の穴に合わせ、キャップスクリューで  
締め込みます。



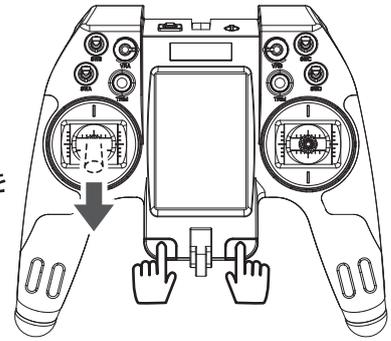
# 操作説明

準備が完了したら、この説明書の手順に従って作業を始めることができます。

## 電源の入れ方

1. スロットルスティックが一番低い位置にあることを確認します。
2. 両方の電源ボタンを同時に3秒間押し続けます。NV14の電源を入れると画面が表示されます。

① スロットルスティックを一番低い位置に。



② 電源ボタンを両方同時に押し続けます。



**注意**

システムがアクティブになっている間は細心の注意を払ってください



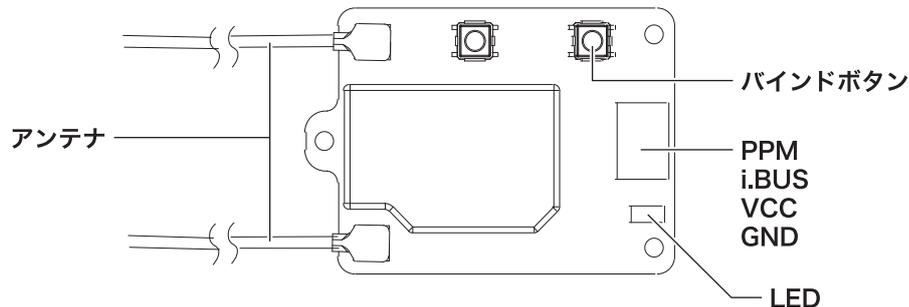
**注意**

安全のため、スロットルが最も低い位置にあり、スイッチは最も高い位置にあることを確認してください。

## バインディングの仕方

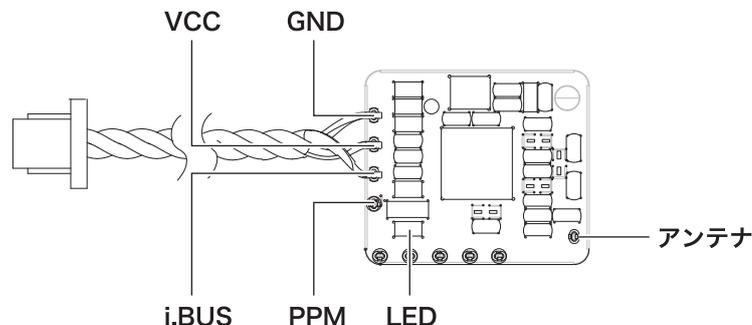
### FS-X8B受信機とのバインディング

1. 受信機の電源を入れながらバインドボタンを押し続けます。バインドモードになると、受信機のLEDが点滅します。
2. メイン画面の⚙️マーク (SET UP) を押し、Internal RF項目の **Bnd** を押すと、送信機がバインドモードに入ります。
3. バインドが完了したら、受信機のLEDが点滅から点灯に変わります。
4. 送信機と受信機が動作することを確認します。



### FS-iA8X受信機とのバインディング

1. 受信機の電源を入れるとバインドモードに入ります。バインドモードでは、受信機のLEDが素早く点滅します。
2. メイン画面の⚙️マーク (SET UP) を押し、Internal RF項目の **Bnd** を押すと、送信機がバインドモードに入ります。
3. バインドが完了したら、受信機のLEDが点滅から点灯に変わります。
4. 送信機と受信機が動作することを確認します。



## 飛行前の確認

安全のために、使用前に以下の手順に従ってください。

- 1.システム全体をチェックし、すべてが設定どおりに動作することを確認します。
- 2.範囲のチェックをします。通信が切断されるまで送信機と受信機を離します。



**危険** テスト中に 動作に異常があった場合は使用しないでください。



**危険** 使用中は、最大範囲を超えて飛行しないように注意してください。



**注意** 外部からの電波やノイズは信号品質に影響を与える可能性があります。



**危険** 使用前に各チャンネルが正しく動作していることを確認してください。

## 電源の切り方

1.受信機の電源を切ります。

\*安全のために、必ず送信機の前に受信機の電源を切ってください。

2.画面が消えるまで両方の電源ボタンを押し続けます。

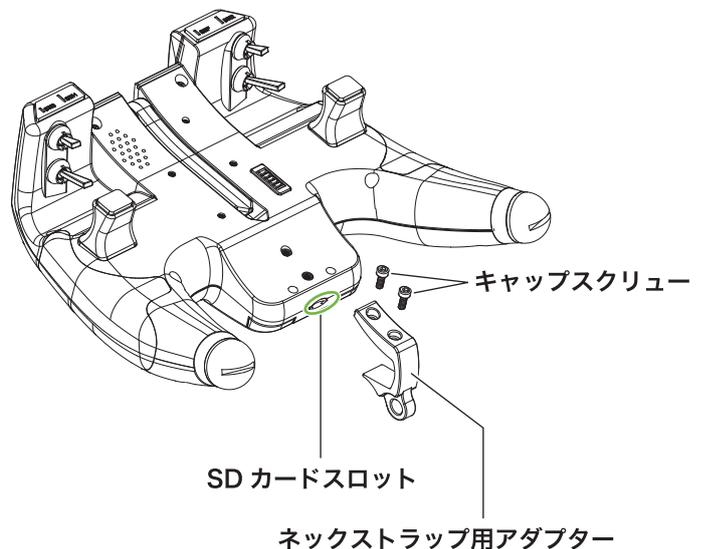


**危険** 安全のために、必ず送信機の前に受信機の電源を切ってください。

## ネクストラップ用アダプターの脱着とSDカードの差込方法

- 1.ネクストラップ用アダプターの後部の2本のキャップスクリューを緩める。
- 2.ネクストラップ用アダプターを外して、SDカードスロットを露出させます。
- 3.送信機内に付属しているSDカードを内側に押し当て、取り外します。

\*ファームウェアを正しく動作させるには、NV14にSDカードを取り付ける必要があります。



## アップデート方法 (Windowsの場合)

**必要条件** ※事前にダウンロードしてください。

Zadig ドライバーインストーラー: <https://zadig.akeo.ie/>

OpenTX Companion 2.2: <https://www.open-tx.org/2018/07/28/opentx-2.2.2>

Zadig ドライバーインストーラーとOpenTX Companion 2.2は京商サイトURL、

<http://www.kyosho.com/jpn/support/instructionmanual/flysky/index.html>からもダウンロードできます。

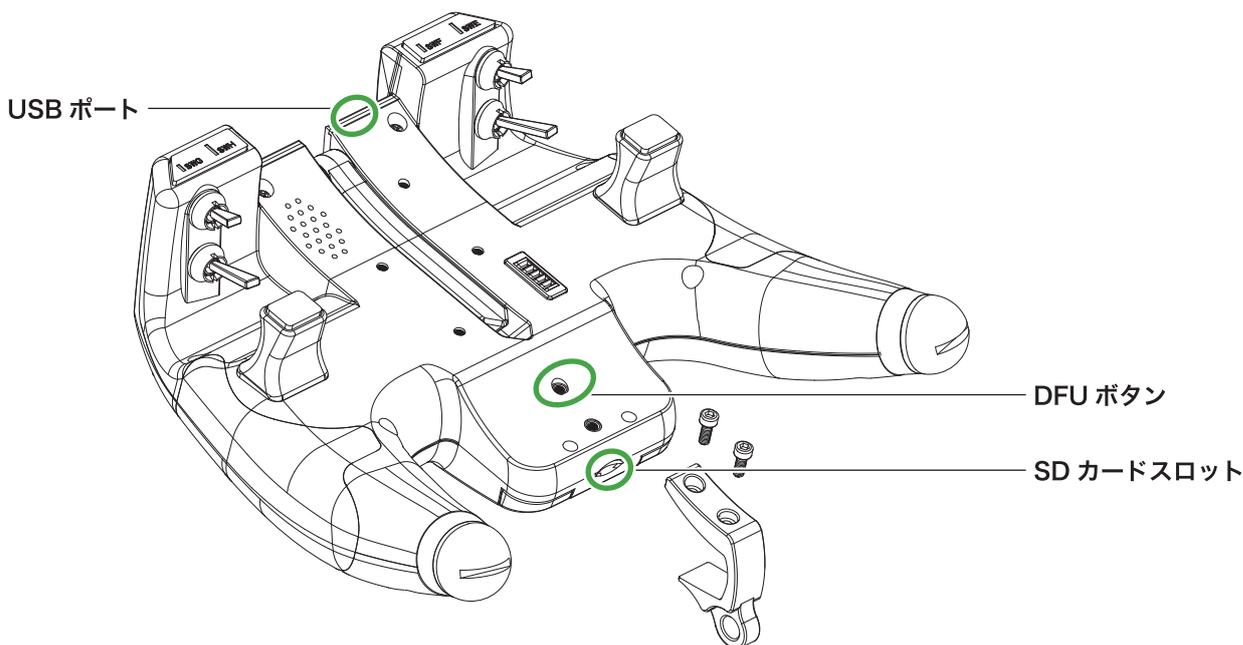
### ドライバーのインストール

ドライバーのインストールは、コンピューターで初めて接続するときのみに必要です。

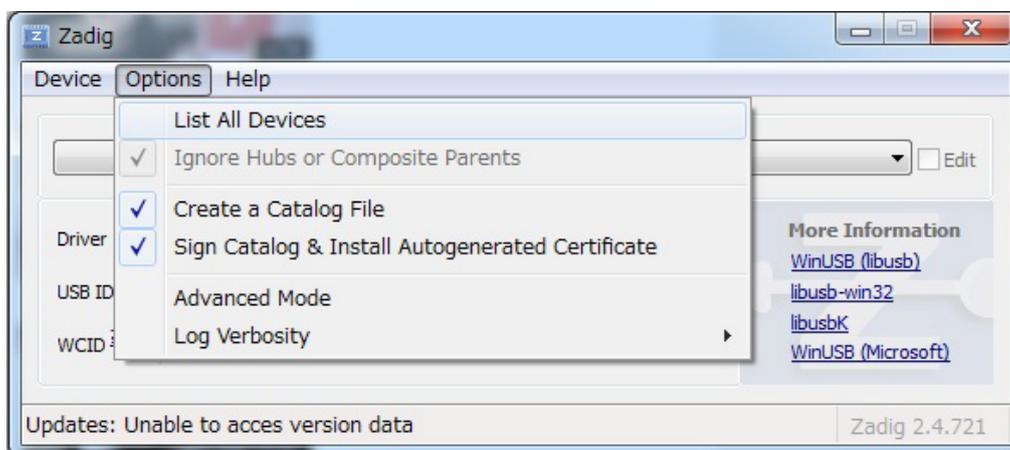
この手順を既に実行している場合は、このセクションをスキップできます。

注意: Windows 10は更新中にドライバーを削除する可能性があります。その場合はドライバーを再インストールしてください。

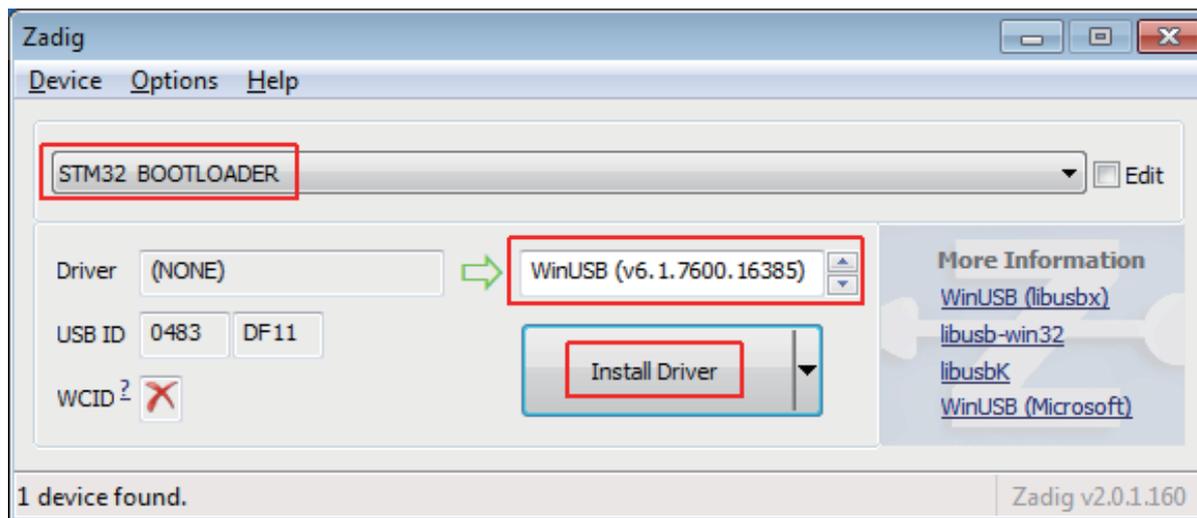
1. NirvanaをDFUモードにします。
  - a. バッテリーを入れます。
  - b. USBワイヤーをPCに接続します。
  - c. DFUボタンを押しながらUSBワイヤーを送信機に差し込みます。



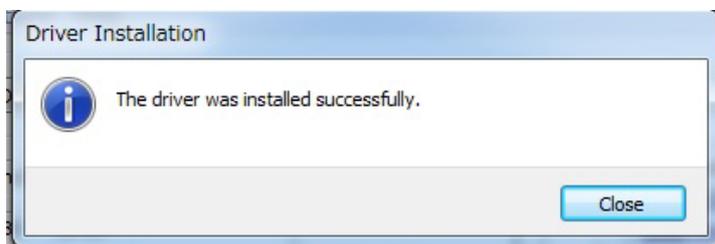
2. Zadig ドライバーインストーラーのファイルをダブルクリックして“はい”を選択して、Zadigを開きます。
3. 「Options」 → 「List All Devices」 をクリックしてください。



4. 大きなドロップダウンメニューの中から、“STM32 BOOTLOADER”または“STM Device in DFU mode”を選択して、“Install Driver” または“Replace Driver” ボタンをクリックしてください。ドライバーのインストールは少し時間がかかります。

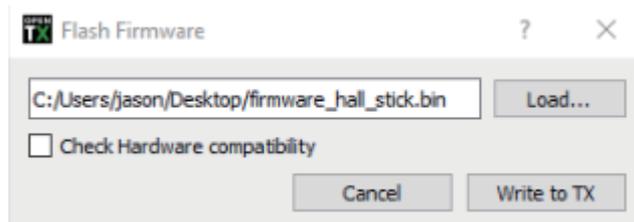


5. 下図が出たらドライバーのインストールが成功です。Zadigを閉じます。



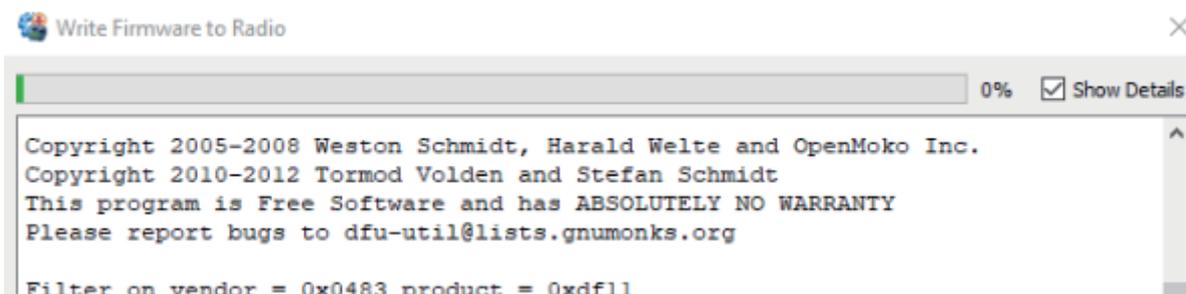
### Nirvanaのファームウェアを更新

1. ダウンロードした「Companion-Windows-2.2.3」をダブルクリックし、“はい”を選択して指示に従ってインストールします。
2. 「OpenTX Companion」を開く。
3. ウィンドウの左側にある  アイコンを選択してください。
4. ポップアップメニューから“Load...”を選択し、6ページのリンクあるいは京商のサイトからダウンロードしたファームウェアの .binファイルまたはDFUファイルを選択します。

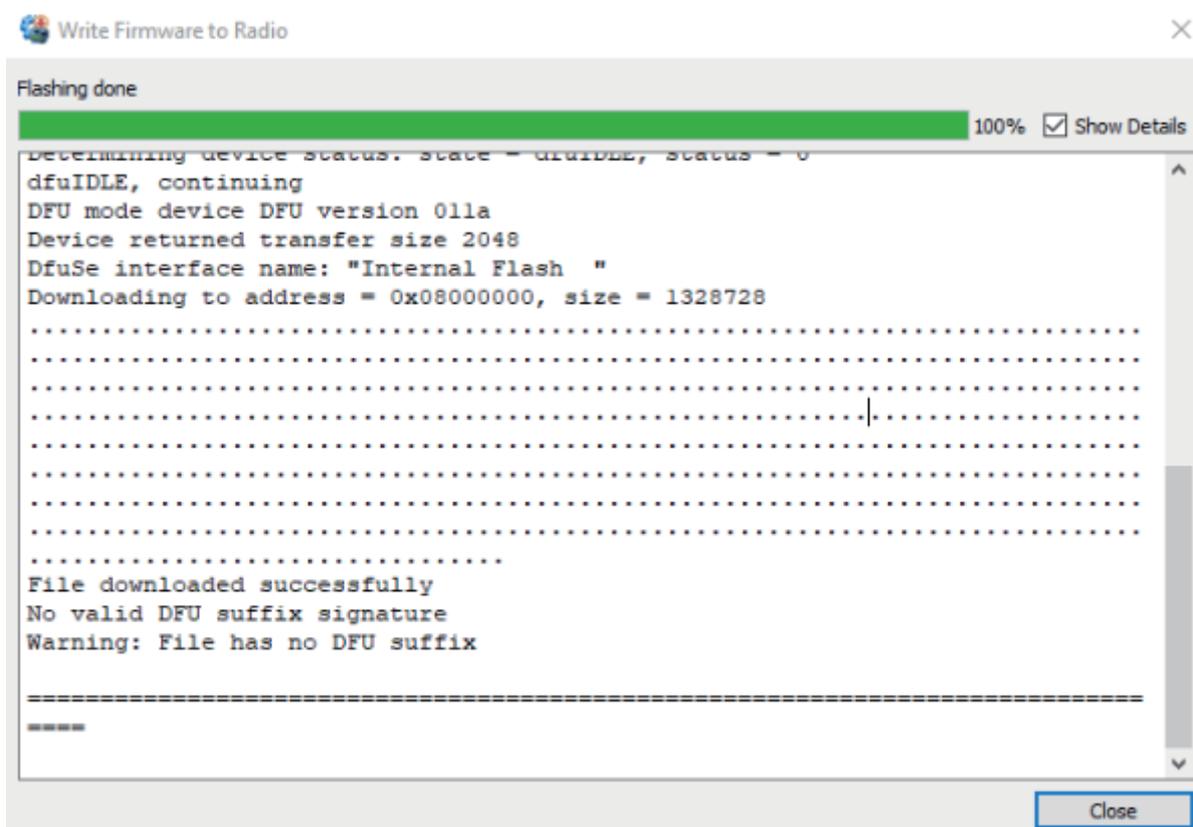


“Check Hardware Compatibility” [ハードウェアの互換性の確認]ボックスにチェックマークが付いていないことを確認してください。

5. “Write to TX” をクリックします。新しいウィンドウが開き、進行状況バーといくつかのデバッグ情報が表示されます。



6. 更新が完了したら、CloseをクリックしてUSBケーブルを取り外し、送信機の電源を入れます。



注意：“Cannot Open Device”というエラーが表示された場合は、USBドライバーを再度インストールしてください。



接続されたコンピューターにdfu-util.exeが正しく構成されているかを確認する為にアイコンをクリックして、  
C : / Program Files (x86) / OpenTX / Companion2.2 / dfu-util.exeこのアドレスにつながることを確認してください。  
DFUモードを終了するにはDFUボタンを押した後にUSBケーブルを抜き、送信機からバッテリーを取り外します。

## アップデート方法 (Macの場合)

**必要条件** ※事前にダウンロードしてください。

USBドライバー「Silicon Labs VCP Driver Install Disk」と「OpenTX Companion」を京商サイトURL、<http://www.kyosho.com/jpn/support/instructionmanual/flysky/index.html>からダウンロードしてください。

### ドライバーのインストール

ドライバーのインストールは、コンピューターで初めて接続するときのみに必要です。この手順を既に実行している場合は、このセクションをスキップできます。

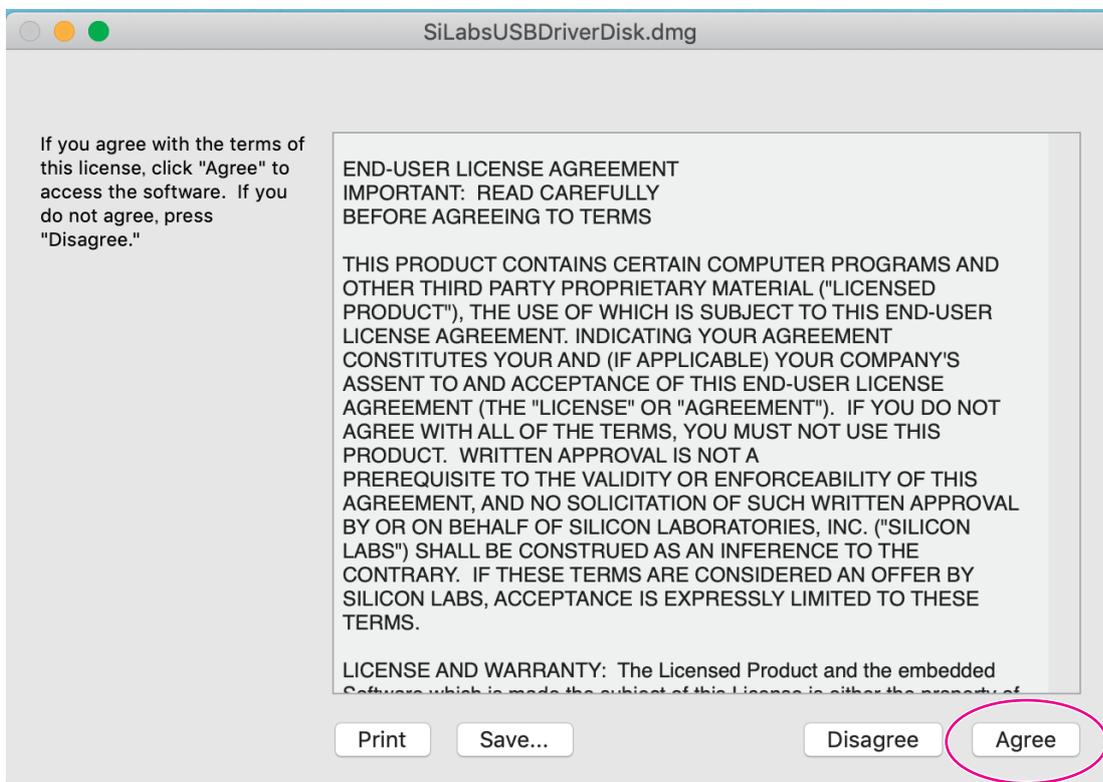
1. Mac用USBドライバー「Silicon Labs VCP Driver Install Disk」のアイコンをクリックしファイルを解凍します。



2. 解凍したら「Silicon Labs VCP Driver.pkg」をクリックします。



3. 「Agree」を選択し、指示に従い進めていくとUSBドライバーのインストールが完了します。



※インストールが上手くいかない場合はセキュリティでブロックされている可能性があります。

## OpenTX Companionのインストール

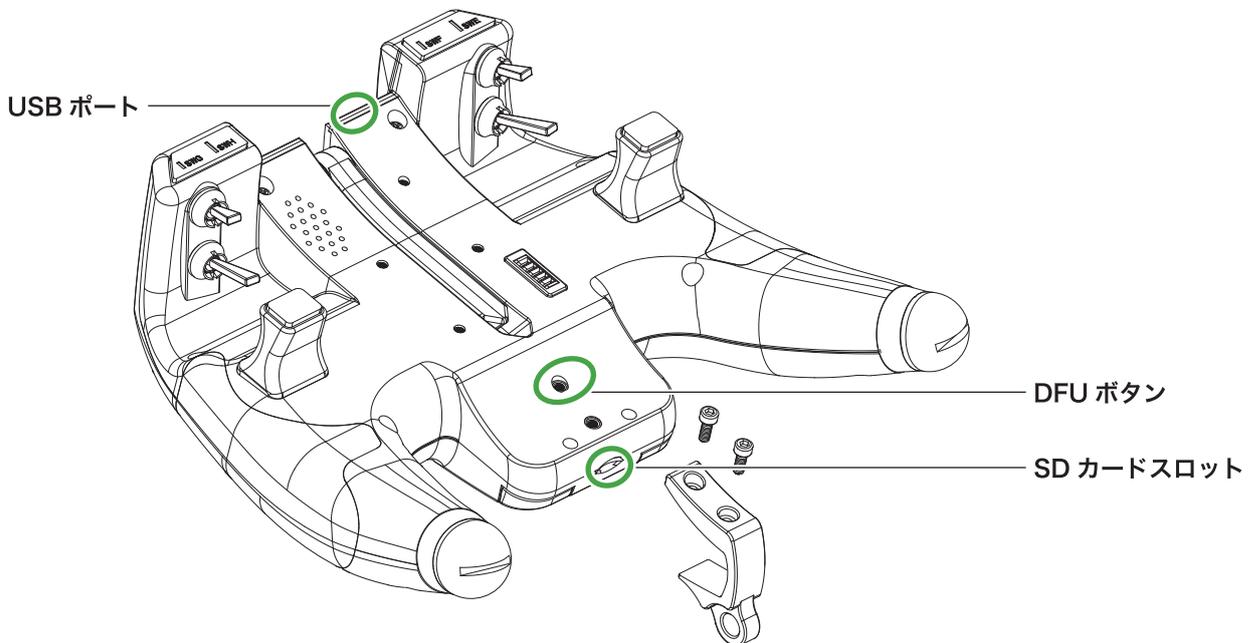
OpenTX Companionのインストールは、コンピューターで初めて接続するときのみに必要です。この手順を既に実行している場合は、このセクションをスキップできます。

1. Mac用「OpenTX Companion」ファイルをアプリケーションフォルダにドラッグしたら完了です。



## Nirvanaのファームウェアを更新

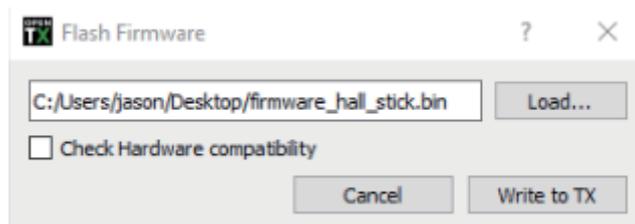
1. NirvanaをDFUモードにします。
  - a. バッテリーを入れます。
  - b. USBワイヤーをPCに接続します。
  - c. DFUボタンを押しながらUSBワイヤーを送信機に差し込みます。



2. 「OpenTX Companion」を開く。

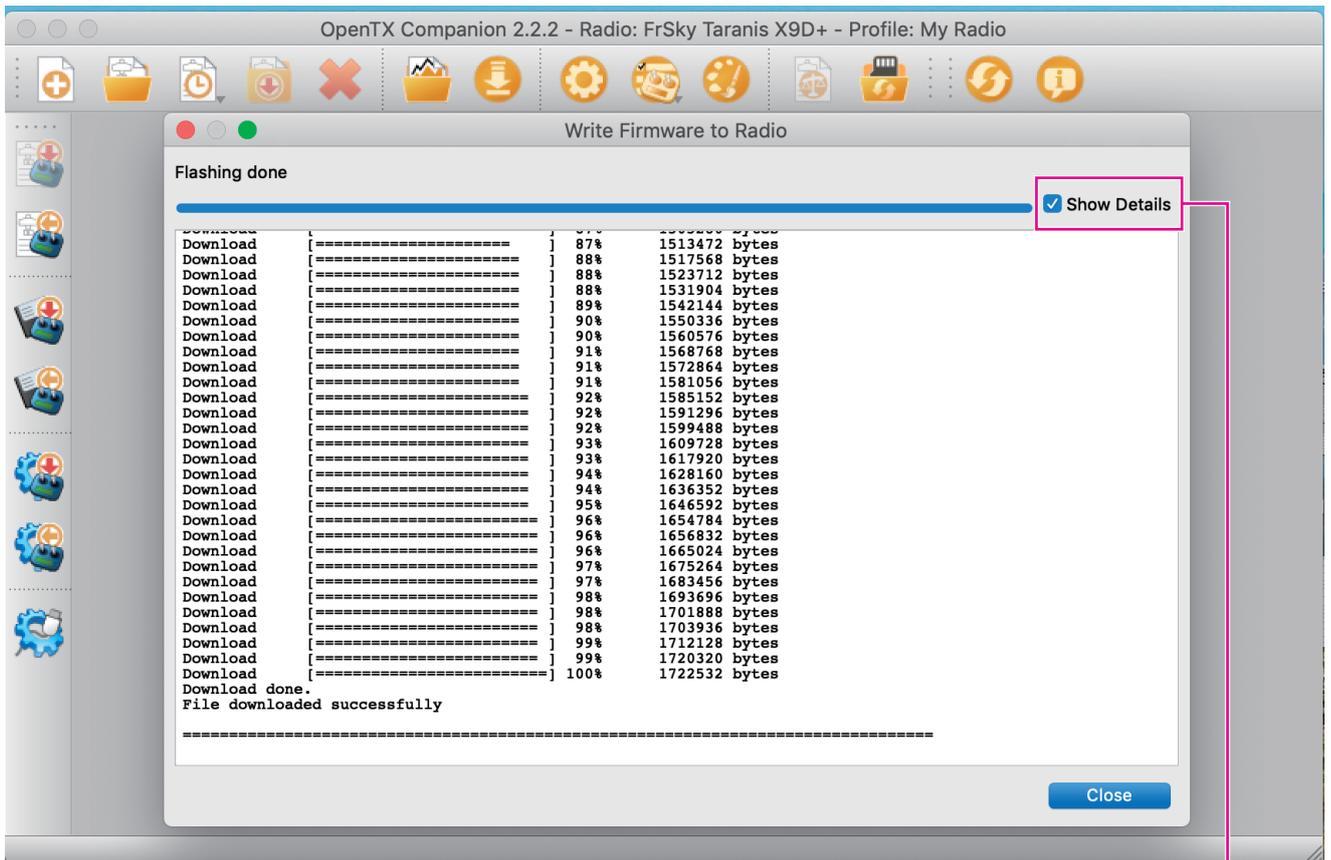
3. ウィンドウの左側にある  アイコンを選択してください。

4. ポップアップメニューから“Load...”を選択し、6ページのリンクあるいは京商のサイトからダウンロードしたファームウェアの.binファイルまたはDFUファイルを選択します。



“Check Hardware Compatibility” [ハードウェアの互換性の確認]ボックスにチェックマークが付いていないことを確認してください。

5. “Write to TX” をクリックします。新しいウィンドウが開き、進行状況バーといくつかのデバッグ情報が表示されます。



Macの場合「Show Details」を見ないと進捗がわかりません。

6. 更新が完了したら、CloseをクリックしてUSBケーブルを取り外し、送信機の電源を入れます。

注意：“Cannot Open Device” というエラーが表示された場合は、USBドライバーを再度インストールしてください。



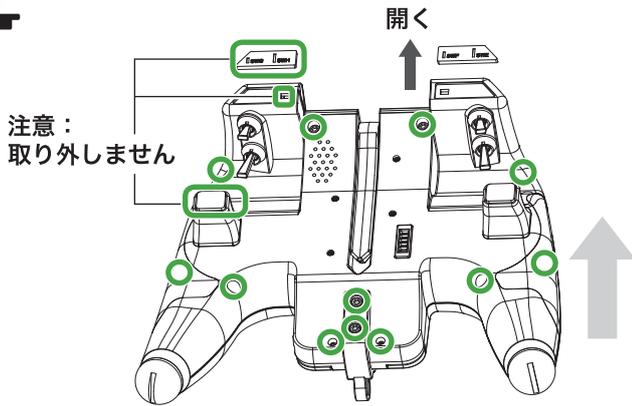
DFUモードを終了するにはDFUボタンを押した後にUSBケーブルを抜き、送信機からバッテリーを取り外します。

## 左右のジンバル交換方法

NV14はスティック機能を切り替えることができます。工場出荷時には、左スティックがスロットル用（モード2）に設定されているため、自動的に中央に戻りません。

注意：スティック位置を変更した後は、ソフトウェアでスティックモードを変更することを忘れないでください。

1



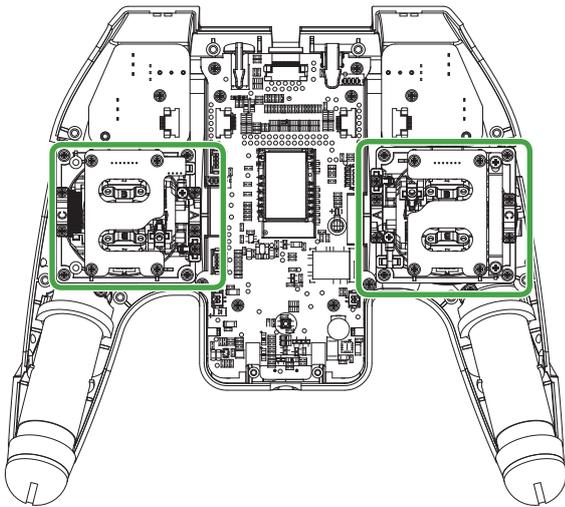
丸棒12カ所のネジを外します。ゆっくり持ち上げてカバーを引き離します。



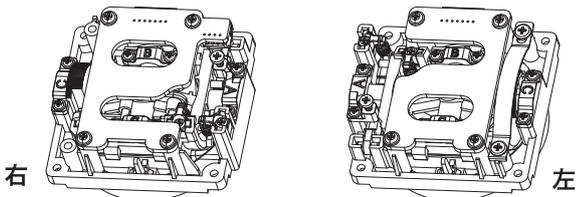
注意

ワイヤーを傷つけないよう、前面と背面のカバーを引っ張りすぎないでください。

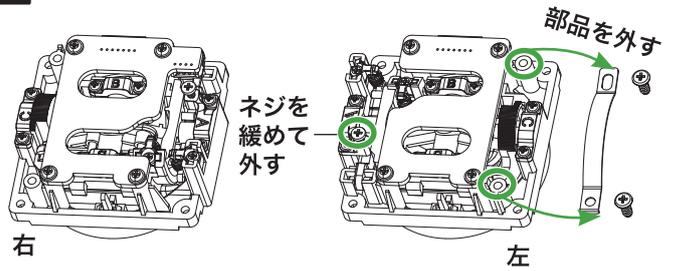
2



下図を参考に左右ジンバルを確認してください。

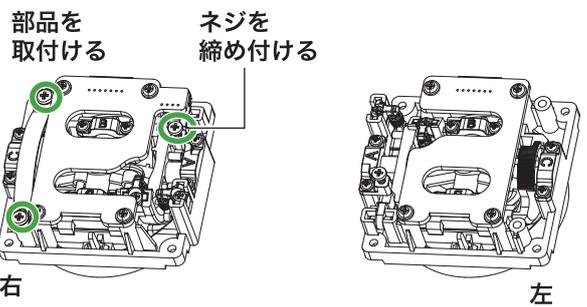


3



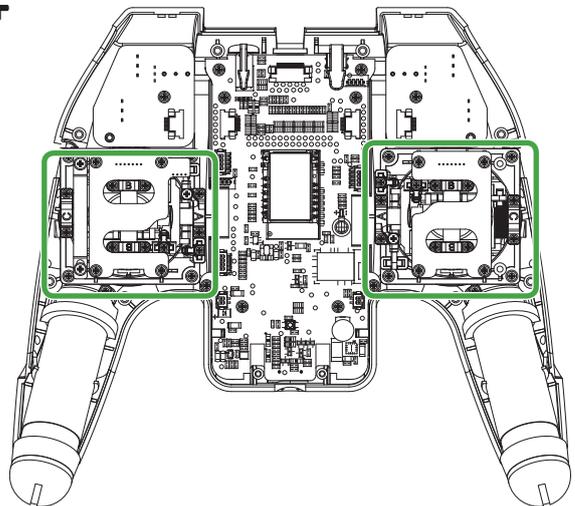
図に示されているネジと部品を外します。

4



図のように、左側から取り外したネジと部品を右側に取付けます。

5



送信機の背面を元に戻してネジを締め、次にグリップを元の位置に戻します

## 製品仕様

### Nirvanaの仕様

- 製品 : NV14
- チャンネル : 14ch
- 周波数範囲 : 2.408-2.475GHz
- 2.4GHzプロトコル : AFHDS 2A
- モジュレーション : FHSS
- 電源 : <20dBm (EU)
- 低電圧警報 : <3.7 V
- アンテナの種類 : 内蔵アンテナと外部アンテナ
- バッテリー : 18650型リチウムイオン充電電池 2個 (別売)
- オンライン更新 : 有
- 寸法 : W206×L184×H85mm
- 重量 : 705g
- 認証 : CE, FCC ID : N4ZNV1400

### FS-X8Bの仕様

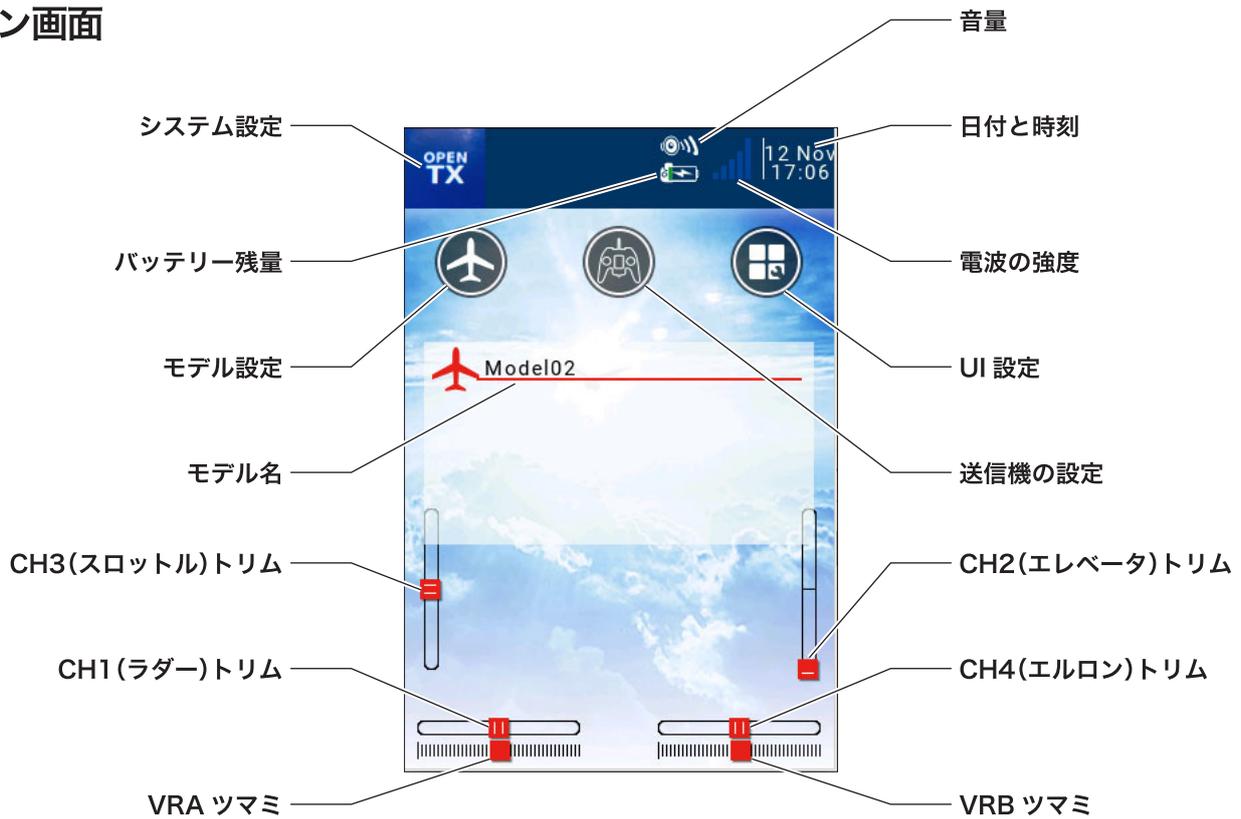
- 製品 : FS-X8B
- チャンネル : 8ch (PPM) ;18ch (i-BUS)
- 周波数範囲 : 2.408-2.475GHz
- 2.4GHzプロトコル : AFHDS 2A
- モジュレーション : FHSS
- 電源 : <20dBm (EU)
- データ出力 : PPM/i-BUS/S-BUS
- アンテナの種類 : 93mm (Dual Antenna) デュアルアンテナ
- 入力電力 : 4.0 ~ 8.4V
- オンライン更新 : 無
- 寸法 : W23×L33×H7mm
- 重量 : 6g
- 認証 : CE, FCC ID : N4ZX8B00

### FS-iA8Xの仕様

- 製品 : FS-iA8X
- チャンネル : 8ch (PPM) ;18ch (i-BUS)
- 周波数範囲 : 2.408-2.475GHz
- 2.4GHzプロトコル : AFHDS 2A
- モジュレーション : FHSS
- 電源 : <20dBm (EU)
- データ出力 : PPM/i-BUS/S-BUS
- アンテナの種類 : シングルアンテナ
- 入力電力 : 4.0 ~ 8.4V
- オンライン更新 : 無
- 寸法 : W15×L13×H3.5mm
- 重量 : <2 g
- 認証 : CE, FCC ID : N4ZIA8X00

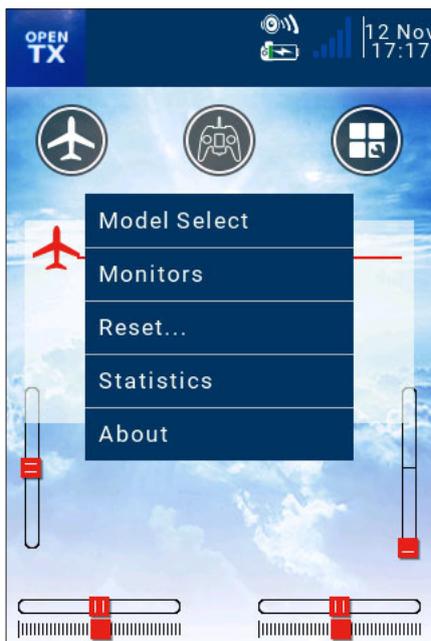
# 画面表示について

## メイン画面

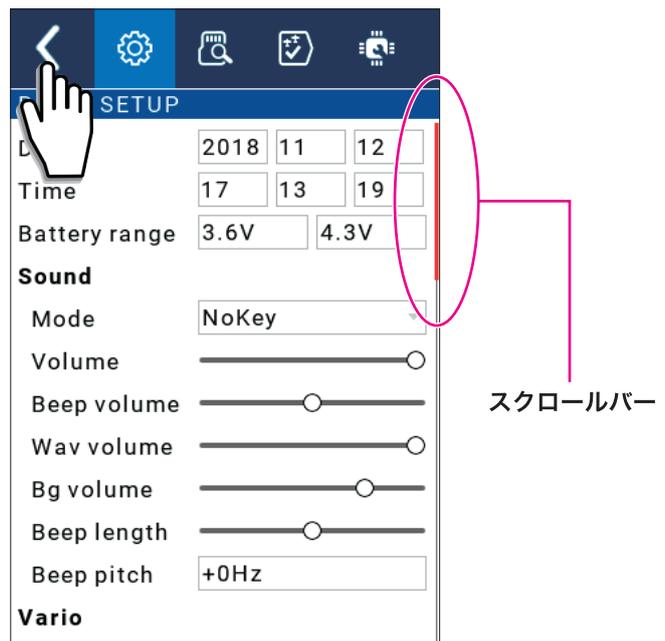


システム設定、モデル設定、送信機の設定、UI設定をする場合は、アイコンをタッチすることで各種設定画面にアクセスできます。画面②のようにスクロールバーがある場合は、下方方向にスライドすれば画面下部の設定画面にアクセスできます。メイン画面に戻る場合は、画面①のように設定画面以外の場所をタッチする場合と、画面②のように画面右上の戻るボタン  をタッチして戻る場合があります。

画面①



画面②



# システム設定について

## システム設定画面

### Model Select モデルセレクト

追加のモデルを作成したり、モデルの選択を行います。モデルを選択する時は、  
選択したいモデルをタップし画面左上の  マークを押したらモデル選択完了です。

### Monitors モニター

各チャンネルとロジカルスイッチの状態を確認します。

### Reset... リセット

次の項目をリセットします。

### Statistics データロガー

スロットル、バッテリー、送信機の起動時間、各チャンネルのアナログ値などを表示します。

### About 使用しません。

OpenTXとその貢献者に関する情報を表示する際に使用します。



## モデルセレクト画面

### Select model セレクトモデル

モデルの選択をします。

### Create model モデル作成

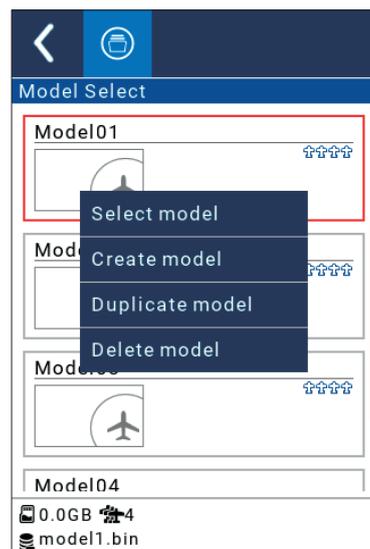
新しいモデルを作成します。

### Duplicate model モデルの複製

モデルを複製するときに使います。

### Delete model モデル消去

モデルを消去するときに使います。



## モニター画面

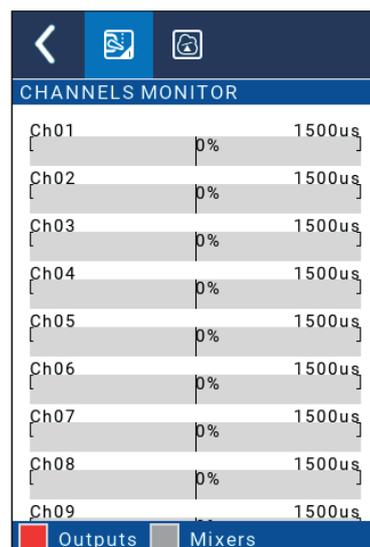
### CHANNELS MONITOR チャンネルモニター

Ch1～Ch32までの出力とミックスの状態を確認します。

### LOGICAL SWITCHES MONITOR ロジカルスイッチモニター

OPEN TX Companionを使って設定した条件の状態を確認します。

※画像はチャンネルモニター



## リセット画面

### Reset flight リセットフライト

使用しているモデルをリセットします。

### Reset timer1 リセットタイマー1

タイマー1をリセットします。

### Reset timer2 リセットタイマー2

タイマー2をリセットします。

### Reset timer3 リセットタイマー3

タイマー3をリセットします。

### Reset telemetry テレメトリーのリセット

テレメトリーをリセットします。



## データロガー画面

### Statistics データロガー

送信機の起動時間、バッテリー、スロットル、タイマーなどの値を表示します。

### Push to reset リセットボタン

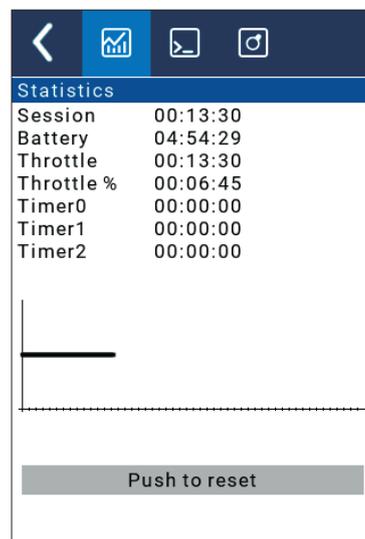
すべての値をリセットします。

### Debug デバッグ

デバッグ画面はOpenTX開発者によって使用されます。

### Analoggs アナログ

各チャンネルのアナログ値を表示します。



# モデル設定について

## SETUP セットアップ

モデルの各種設定を行います。

### Model name モデル名

現在のモデル名を設定します。

### Model image モデル画像

SDカードの[BMP]フォルダに保存したモデル画像から選択します。  
デフォルト時は何もありません。

### Timer1 タイマー1

カウントするタイマーを設定します。

#### Name タイマー名

現在のタイマー名を設定できます。

#### Mode モード

割り当てるスイッチと計測方法を選択します



**Simple** : 常時計測をします。

**Thr.** : スロットルスティックがゼロより上になった時間。

**Thr.%** : スロットルスティックがスティックの移動に対する割合としてゼロを超えている時間。

#### Start 開始時間

開始時間を設定します。

#### Minute 毎分

チェックを入れると毎分呼ばれます。

#### Countdown カウントダウン



**Silent** : サイレント

**Beeps** : ビープ音

**Voice** : 音声

**Haptic** : 振動



**5s** : 残り5秒で作動

**10s** : 残り10秒で作動

**20s** : 残り20秒で作動

**30s** : 残り30秒で作動

#### Persist タイマーリセットの設定

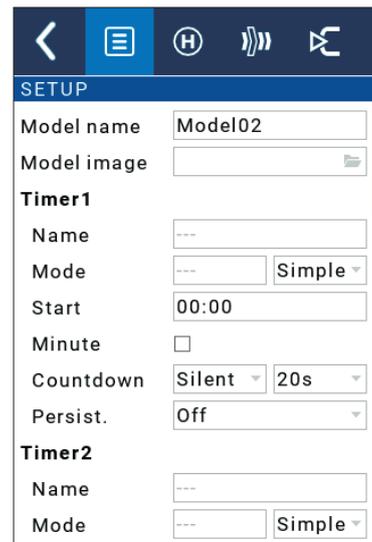
タイマーが永続的に続けるかどうか設定します。



**Off** : 送信機の電源を切っている間はタイマーが保持されない。

**Flight** : システム設定内のリセットフライトを行ったときにリセットされます。

**Manual Reset** : 手でタイマーをリセットします。



## E.Limits (Extended Limits) 限度の延長

チェックを入れると、Servos画面の移動限度を150%に増やすことができ、1500±768μSのPWM信号をサーボに送ることができます。

## E.Trims (Extended Trims) トリム範囲の延長

チェックを入れると、ジンバルスティックのトリム範囲が25%から100%に増えます。

## Reset

使用できません。

## Show Trims トリム表示

トリムを変更した際、変更した数値を表示するかどうかを選択できます。

↓

### No

表示しない。

### Change

トリム変更時に表示します。

### Yes

常に値を表示します。

## Trim Step トリムステップ

トリムクリックのサイズを設定します。

↓

### Expo

エキスポネンシャル=トリムステップは、トリムが中心から離れるほど大きくなります。

### ExFine

極細=各クリック $\sim 0.9\mu\text{S}$ 。

### Fine

ファイン=各クリック $=1\mu\text{S}$ 。(デフォルト値)

### Medium

中=各クリック $=4\mu\text{S}$ 。

### Coarse

コース=各クリック $=8\mu\text{S}$ 。

## Throttle

### T-Reverse

チェックを入れるとスロットルがリバース設定になります。

### T-Source

スロットルのチャンネル元を設定します。

### T-Trim

チェックを入れるとハイポイントのエンドポイントをキープしたまま、中心付近のみトリム調整ができます。エンジン機の時に使用すると良いでしょう。

## Preflight Checks

### Checklist

チェックを入れると選択したモデルの.txtファイル (SDカード内のモデルノート) の内容を画面に表示させることができます。

### T-Warning

スロットルが準備状態でない場合に警告するかどうかを選択します。

### S-Warning

デフォルト時のスイッチ位置を設定します。送信機の電源を入れた際に規定外のスイッチ位置にある場合は警告音を発生させます。

## Ctr Beep

4本のステックと2本のスライダがセンターを通過した際にビーブ音が鳴るように設定できます。

## Glob.Funcs

グローバル関数の使用の有無を選択できます。

## Internal RF

内部無線周波数の設定

Mode



Off

内部無線周波数が動作しないことを意味します。この送信機を使用してPCシミュレータを制御する場合に便利です。

Flysky

Flyskyの無線周波数を適用します。

※ModeにてFlyskyを選ぶと下記選択欄が出ます。

PWM+i

PWM+s

PPM+i

PPM+s

フライトコントローラーと受信機を繋ぐ電波プロトコルを選択します。お使いのフライトコントローラーに合わせて設定してください。

Ch. Range

使用するチャンネルの範囲を選択します。

Rx Frequency

使用しません。

Failsafe

受信に失敗したときの受信機のチャンネル出力を設定します。



Not set

設定しない

Custom

「Custom」を選択すると隣に「Set」ボタンが表示されます。それを選択しフェイルセーフ時の値を設定してください。

## Bnd バインドボタン

受信機とバインディングする際に使用します。

## Rng

使用しません。

## External RF

使用しません。

Mode



Off

PPM

XJT

CRSF

R9M

使用しません。

## HELI SETUP ヘリセットアップ

ヘリコプターに適用されるパラメータの設定をします。

### Swash Type

スワッシュタイプを選択します。

↓

#### 120

スワッシュプレートのサーボを120°にします。

#### 120x

120と同様、90°回転。

#### 140

スワッシュプレートのサーボを140°、140°、80°にします。

#### 90

スワッシュプレートのサーボを90°、90°、180°にします。

HELI SETUP	
Swash Type	---
Swash Ring	0
Long. cyc.	---
Weight	0
Lateral cyc.	---
Weight	0
Collective	---
Weight	0

### Swash Ring スワッシュリング

エルロンとエレベーターの両方の制御が同時に最大になったときにスワッシュサーボが機械的限界に当たらないように、スワッシュリングの値を0~100%の間で調整できます。

### Long. cyc.(Long Cyclic Direction)

エレベータのサイクリックコントロールをするキーを選択します。「---」は通常。「INV」は反転。

### Weight 配分

「Long. cyc.」に割り当てたキーの出力量を調整できます。

### Lateral cyc.(Lateral Cyclic Direction) ラテラルサイクリック

エルロンのサイクリックコントロールをするキーを選択します。

### Weight 配分

「Lateral cyc.」に割り当てたキーの出力量を調整できます。

### Collective コレクティブ

コレクティブピッチコントロールをするキーを選択します。

### Weight 配分

「Collective」に割り当てたキーの出力量を調整できます。

## FLIGHT MODES フライトモード

フライトモードを設定できます。

### FM0~FM8

FM0~FM8までフライトモードを設定できます。デフォルトではFM0が適用されます。  
FM1~FM8を使う場合は、「Input」と「MIXER」の項目のModeにて番号を選択してください。

#### Name

名前を記入できます。

#### Trims

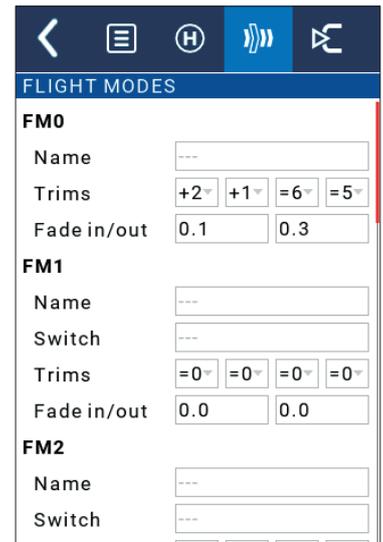
左からラダー、エレベータ、スロットル、エルロンのトリムを0~8に調整できます。

#### Fade in フェードイン

このフライトモードが有効になっているときの移行時間。

#### Fade out フェードアウト

このフライトモードが無効になっているときの移行時間。



## INPUTS 入力

入力の設定をします。

↓設定するチャンネルをタッチします。

### Edit 編集

↓「Edit」ボタンをタッチします。

#### Input

入力名を設定します。

#### Switch

入力に割り当てるキーを設定します。

#### Side

ジンバルスティックの動作範囲を設定します。

↓

--- : スティックの動作範囲は全域で有効

X>0 : スティックの動作範囲がセンターからハイポイントまでの設定となります。

X<0 : スティックの動作範囲がセンターからローポイントまでの設定となります。

#### Name

名前を設定できます。

#### Source

割り当てるチャンネルを選択します。

#### Weight

入力のデュアルレートを設定します。

#### Offset

スティックのセンターからのオフセット値を設定します。

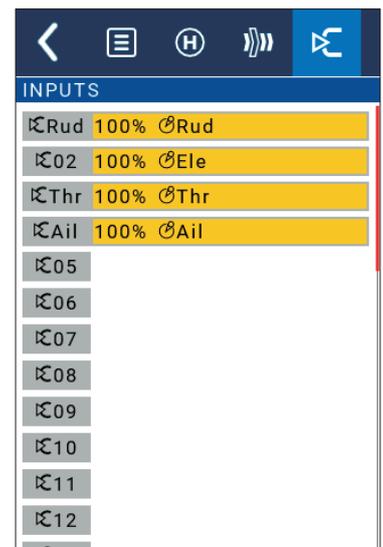
#### Trim

トリムの有無を選択できます。また、Rud(ラダー)・Ele(エレベータ)・Thr(スロットル)・Ail(エルロン)のどれかに連動することもできます。

#### Curve

入力カーブの方式と変更値を設定ができます。

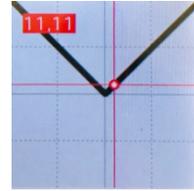
↓



- Diff 差分方式** : 設定した数値まで直線で結ぶ方式です。
- Expo エキスポンシャル方式** : 設定した数値まで直線で結ぶ方式です。数値までを曲線で結びます。
- Func 関数方式** : 定義された関数（出力方法）を選択する方式です。

↓

- : ステックの動作範囲は全域で有効
- X>0** : ステックの動作範囲がセンターからハイポイントまでの設定となります。
- X<0** : ステックの動作範囲がセンターからローポイントまでの設定となります。
- |x|** : 図のような入力方式になります。



- f>0** : 図のような入力方式になります。



- f<0** : 図のような入力方式になります。



- |f|** : 図のような入力方式になります。



- Cstm** : 「CURVES」にて設定した入力方式を選択できます。

↓

### Mode

適用するフライトモードを設定できます。

## Insert Before

新規主力設定を手前に挿入

## Insert After

新規主力設定を後ろに挿入

## Copy

選択している入力設定をコピーします。

## Move

選択している入力設定を別のチャンネルに移動できます。移動したい入力設定を選択し、「Move」をタッチ。その後、移動したいチャンネルを選択し「Paste」をタッチすると移動できます。

## Delete 削除

## MIXER ミキサー

任意の2つのチャンネルのミキシングを設定できます。

↓ 設定するチャンネルをタッチします。

### Edit 編集

↓ 「Edit」 ボタンをタッチします。

#### Mix name ミキシング名

ミキシング名を設定できます。

#### Source ソース

ミキシング元のチャンネル

#### Weight ウェイト

Sourceシグナルの範囲を設定できます。(デフォルト値：100%)

#### Offset オフセット

ミキシングされるチャンネルのニュートラル位置を変更

#### Trim トリム

チェックを入れると、ソースからトリム設定を有効にします。

#### Curve カーブ

3種類の定義済み曲線タイプかカスタムカーブを選択できます。

↓

Diff 差分 (定義済み微分曲線タイプ)

Expo エキスポ (定義済み指数曲線タイプ)

Func 関数 (定義済み関数曲線タイプ)

Cstm カスタムカーブ

#### Mode モード

0から8までのフライトモードに対して、今選択しているチャンネルのミキサーの有効/無効を設定できます。  
(デフォルト値：0から8まですべて有効)

#### Switch スイッチ

Sourceにミキシングされるチャンネル

#### Warning 警告音

警告音 (1、2、または3回のピーブ音) を鳴らすように設定できます。(デフォルト値：Off)

#### Multiplex マルチプレックス

同じチャンネルで現在のミキサーラインがその上の他のラインとどのように相互作用するかを定義します。  
MIXERの画面に追加されます。

↓

Add 追加 : 現在の設定を同じチャンネルに追加します。

Multiply マルチプレイ : この行に上記の行を掛けます。

Replace リプレイス : 追加したマルチプレックスの設定よりも現在の設定を有効にします。

#### Delay up デレイアップ

正のソース (「Source」に設定したチャンネル) 変化の後、出力変化は選択された時間だけ遅れます。範囲は0.0~25.0秒です。

#### Delay dn デレイダウン

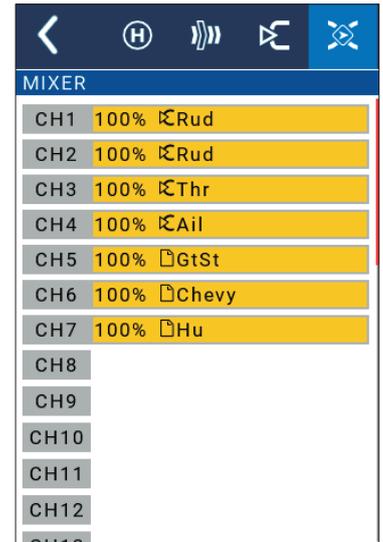
負のソース (「Source」に設定したチャンネル) 変化の後、出力変化は選択された時間だけ遅れます。範囲は0.0~25.0秒です。

#### Slow up スローアップ

正のソース (「Source」に設定したチャンネル) 変更の後、出力変更レートは選択された時間まで遅くなります。  
範囲は0.0~25.0秒です。

#### Slow dn スローダウン

負のソース (「Source」に設定したチャンネル) 変更の後、出力変更レートは選択された時間まで遅くなります。  
範囲は0.0~25.0秒です。



Edit 編集

Insert Before 前に挿入

Insert After 後に挿入

Copy コピーする

Move 移動する

Delete 削除する

## OUTPUTS 出力

各チャンネルの出力設定をします。

↓ 設定するチャンネルをタッチします。

Edit 編集

↓ 「Edit」 ボタンをタッチします。

### Name

ネーミング設定をします。

### Subtrim

サブトリムの設定をします。

### Min

最小出力の設定をします。

### Max

最大出力の設定をします。

### Inverted

出力の反転（リバース）の設定ができます。

### Curve

「CURVES」で設定した出力カーブを選択できます。

### PPM Center

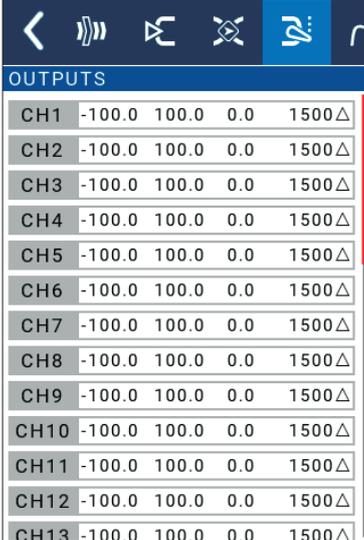
パルス位置変調の中心位置の設定ができます。

### Subtrim mode

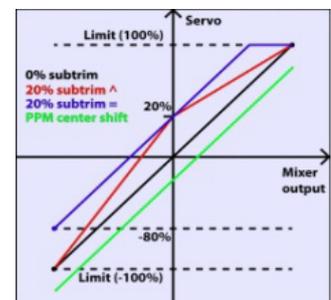
サブトリムのモード設定ができます。

↓

- △ : 設定したサブトリムの値を基点に出力のカーブが変わります。  
図はサブトリムを20%にした場合の例です。
- = : 設定したサブトリムの値を基点に出力が比例します。  
図はサブトリムを20%にした場合の例です。



OUTPUTS				
CH1	-100.0	100.0	0.0	1500Δ
CH2	-100.0	100.0	0.0	1500Δ
CH3	-100.0	100.0	0.0	1500Δ
CH4	-100.0	100.0	0.0	1500Δ
CH5	-100.0	100.0	0.0	1500Δ
CH6	-100.0	100.0	0.0	1500Δ
CH7	-100.0	100.0	0.0	1500Δ
CH8	-100.0	100.0	0.0	1500Δ
CH9	-100.0	100.0	0.0	1500Δ
CH10	-100.0	100.0	0.0	1500Δ
CH11	-100.0	100.0	0.0	1500Δ
CH12	-100.0	100.0	0.0	1500Δ
CH13	-100.0	100.0	0.0	1500Δ



Reset リセット

Cpy stick -> subtrim

ステックの位置をサブトリムにコピーします。

Cpy trim -> subtrim

トリムの位置をサブトリムにコピーします。

## CURVES 出力カーブ

出力カーブの設定を変更できます。

↓設定するチャンネルをタッチします。

### Edit 編集

↓「Edit」ボタンをタッチします。

#### Name

名前を設定できます。

#### Type タイプ

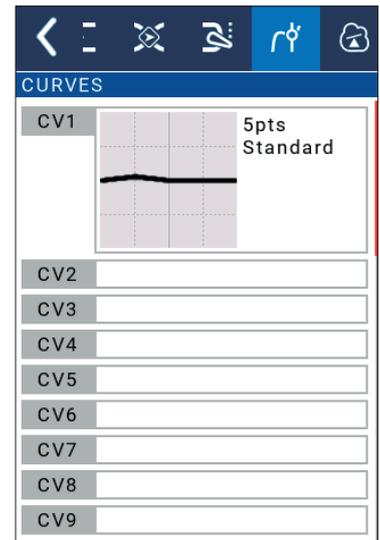
↓

**Standard** : 標準タイプでは、点の数が選択されると、それらは自動的に等間隔に配置されます。Y軸のみ編集可能です。

**Custom** : カスタムタイプでは、各点のX軸とY軸の位置を編集できます。

**Opts** : 出力カーブの点の数を変更できます。

**Smooth** : チェックを入れない場合は、点と点を結ぶ線が直線が適用されます。チェックを入れた場合は、すべての点に沿ってスプライン（滑らかな曲線）が適用されます。



### Preset...

プリセット値を選択できます。

↓

#### Edit

プリセット値の各点を編集できます。

#### Preset...

異なるプリセット値を選択できます。

#### Mirror

現在のプリセット値を反転します。

#### Clear 削除

## LOGICAL SWITCHES ロジカルスイッチ

トリガーとなるスイッチとその値、そしてロジカルスイッチの機能を有効にする関数を選択します。

↓設定するチャンネルをタッチします。

### Edit 編集

↓「Edit」ボタンをタッチします。

#### Func 機能

↓

--- : ロジカルスイッチ値は常に0です。

a=x : V1 = V2の場合は有効、それ以外の場合は無効です。

a~x : V1がおおよそ= V2であれば有効。 (+/- 0.9)

a>x : V1がV2より大きい場合は有効

a<x : V1がV2より小さい場合は有効

la>x : V1の大きさがV2より大きい場合は有効

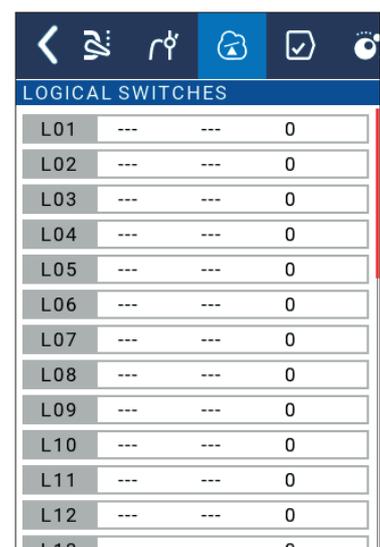
la<x : V1の大きさがV2より小さい場合は有効

AND : V1とV2が両方とも有効の場合は有効。

OR : V1またはV2が有効の場合は有効。

XOR : V1またはV2が有効で、両方ではない場合は有効です。

Edge : V1、V2 = [t1 : t2] スイッチV1が少なくともt1の間は有効であり、t2の前に解放された後に初めてスイッチは有効になる。t2 = '- 'の場合、t1だけが適用されます。



- a=b** : V1がV2と等しい場合は有効、V2は可変です。
- a>b** : V1がV2より小さい場合は有効、V2は可変です。
- a<b** : V1がV2より大きい場合は有効、V2は可変です。
- $\Delta \geq x$**  : V1の変化がV2以上の場合は有効。
- $|\Delta| \geq x$**  : V1の変化の絶対値がV2以上の場合は有効。
- Timer** : オンタイム (V1) の場合は有効、オフタイム (V2) の場合は無効。これを繰り返します。
- Stcky** : V1で有効、V2で無効を設定します。
- V1** : トリガーとなるスイッチを選択します。
- V2** : トリガーとなる秒数を選択します。
- AND switch** : トリガーとなるスイッチをさらに選択します。
- Duration** : 間隔の設定をします。
- Delay** : 遅延時間の設定をします。

## SPECIAL FUNCTIONS 特殊機能

特殊機能にはSF1からSF64までの番号が付けられています。チェックボックスにチェックを入れると機能が有効になります。

SPECIAL FUNCTIONS		
SF0	ON	Lua Script 5GtStd3
SF1	ON	Lua Script 4GtStd2
SF2	ON	Lua Script 3GtStd
SF3	ON	Lua Script GtStd
SF4	---	
SF5	---	
SF6	---	
SF7	---	
SF8	---	
SF9	---	

↓ 設定するチャンネルをタッチします。

### Edit 編集

↓ 「Edit」 ボタンをタッチします。

#### Switch

設定するスイッチを選択します。

#### Func 機能

↓

- Override** : チャンネル出力を特定の値に強制します。
- Trainer** : 全チャンネル有効。個別にトレーナーモードを有効にします。
- Inst. Trim** : 現在のスティック位置をそれぞれのトリムに追加します。
- Reset** : 選択したタイマー値は、モデル設定画面のタイマーパラメータで設定された値にリセットされます。
- Set** : Timer 1, 2, 3のどれかを設定します。
- Volume** : 音量を変更するためにコントロールを割り当てることができます。
- SetFailsfe** : フェイルセーフをスイッチまたは他のコントロールから設定することができます。
- Play Sound** : ドロップダウンパラメーターボックスに表示されているシンプルなサウンドが再生されます。
- Play Track** : SDカードに保存されているサウンドファイルを再生します。利用可能なサウンドのリストがドロップダウンボックスのパラメータ欄に表示されます。
- Play Val** : パラメータメニューで利用可能なコントロールの範囲のいずれかの値を話します。これらには、スイッチまたはジョイスティックの値、テレメトリの値、または時間が含まれます。
- Lua Script** : LUAスクリプトを再生します。※事前にSDカードにLUAスクリプト (コンピュータ言語) を入れる必要があります。
- BgMusic** : 選択した音楽を再生します。
- BgMusic II** : 同上
- Vario** : バリオ (昇降計) は、指定されたスイッチが有効になっているときにだけ鳴ります。
- Haptic** : 送信機のバイブレーション機能に関する設定を行います。
- SD Logs** : データロギングがサンプリングされ保存される頻度を秒単位で設定します。
- Backlight** : 選択し設定した場合、「Radio Settings」メニューで行われた設定を上書きします。

#### Value

「Func」メニューで選択した機能に対応した値を選択します。

#### Repeat リピート

繰り返す回数を設定します。

## CUSTOM SCRIPTS カスタムスクリプト

事前にSDカードに入れたLUAプログラムを選択します。  
※FW Version: 2.1.1から使用できます。

↓ 設定するチャンネルをタッチします。

### Edit 編集

↓ 「Edit」 ボタンをタッチします。

#### Script スクリプト

事前にSDカードに入れたLUAプログラムを選択します。

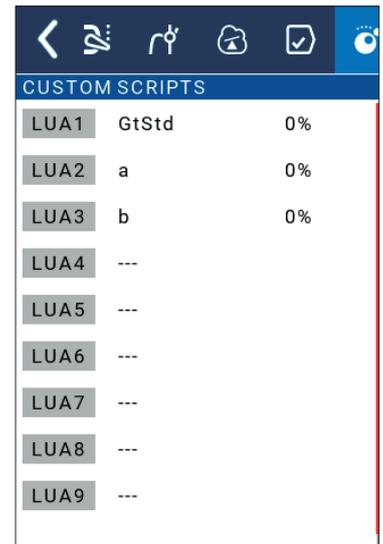
#### Name

名前の設定ができます。

#### Inputs

スクリプト（プログラム）を表示します。

### Clear 削除



## TELEMETRY テレメトリー

テレメトリーに関する設定をします。

### RSSI

RSSIは受信機側の電波受信強度を示します。

### Low alarm

表示の値よりも低いと警告音が鳴ります。（デフォルト値 = 45）

### Critical alarm

危機的な時の場合の数値を設定し、警告音が鳴るようにします。（デフォルト値 = 42）

### Disable alarms

チェックを入れると警告音を無効にします。

### Sensors

#### Discover new sensors

新しいセンサーを探します。

#### Add a new sensor...

新しいセンサーを追加します。

↓

#### Name

センサー名を設定できます。

#### Type

センサーのタイプを選択できます。

#### Unit

単位を選択できます。

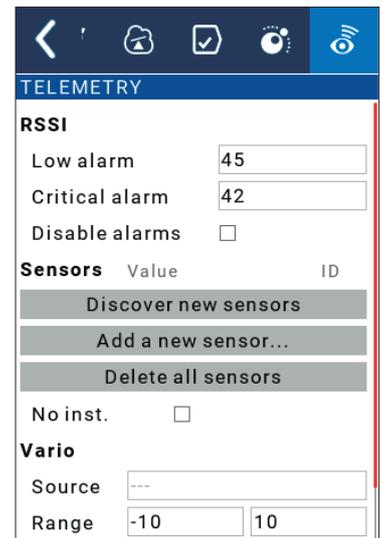
#### Precision

表示する小数点以下の桁数。値は丸められません。数字は切り捨てられます。

・0 - ⇒ 11V

・0.0 ⇒ 11.1V

・0.00 ⇒ 11.18V



### **Ratio**

正しい値を得るために使用する乗数。電圧計の電圧とセンサの電圧が一致しない場合の差分の値を入れます。

### **Offset**

オフセット値を設定します。

### **Auto Offset**

初期値を基準にして値を計算するために使用されます。初期値は、テレメトリリセット時またはセンサーが最初に値を報告したときの値です。たとえば、海面ではなく地面を基準に高度を計算します。

### **Positive**

正の値のみを使用します。値が負の場合はゼロを返します。

### **Filter**

大きく変化する値を滑らかにするために使用されます。値はセンサーの最後のいくつかの報告された値にわたって平均されます。

### **Logs**

「SPECIAL FUNCTIONS」にてログが設定され有効になっている場合、センサーの値がログに追加されます。

## **Delete all sensors**

すべてのセンサーを削除します。

## **No inst.**

## **Vario**

バリオ（昇降計）を取り付けた際に使用できます。OpenTXでは警告音を発することができるため、その設定を行うための項目です。

## **Source**

元となるキーを選択

## **Range**

警告音を発する時の設定範囲を設定します。

## **Center**

センター付近の不感帯を設定します。



### **Tone**

警告音が鳴ります。

### **Silent**

警告音は鳴りません。

# 送信機の設定について

## RADIO SETUP 送信機の設定画面

送信機の設定をします。

### Date

日付の設定をします。

### Time

時間の設定をします。

### Battery range

メイン画面にバッテリー電圧の棒グラフが表示されます。  
棒グラフの範囲は入力した数値になります。

### Sound サウンド設定

サウンド設定

### Mode

サウンドのモードを選択します。



#### Quiet

音は鳴りません。

#### Alarm

アラーム音が鳴ります。

#### Nokey

キー押したとき以外に音が鳴ります。

#### All

すべての音が鳴ります。

### Volume

すべてのサウンドの音量を設定します。

### Beep volume

ビーブ音の音量を設定します。

### Wav volume

wavファイルの音量を設定します。

### Bg volume

BGMの音量を設定します。

### Beep length

ビーブ音の長さを設定します。

### Beep pitch

ビーブ音の間隔を設定します。

### Vario

バリオメータートーンは、高度の増減を示します。

The screenshot shows the 'RADIO SETUP' screen with the following settings:

Date	2018	11	12
Time	17	13	19
Battery range	3.6V	4.3V	
<b>Sound</b>			
Mode	NoKey		
Volume	[Slider]		
Beep volume	[Slider]		
Wav volume	[Slider]		
Bg volume	[Slider]		
Beep length	[Slider]		
Beep pitch	+0Hz		
<b>Vario</b>			

## Volume

スライダを動かして音量を設定します。

## Pitch at zero

高度が一定の場合のバリオトーンのピッチ。

## Haptic

バイブレーションの振動の設定。

## Mode

バイブレーション振動のモードを選択します。

↓

### Quiet

振動しません。

### Alarm

アラーム時に振動します。

### Nokey

キー押したとき以外に振動します。

### All

すべての動作に対して振動します。

## Length

振動の長さを設定します。

## Strength

振動の強さを設定します。

## Alarms

アラームの設定をします。

## Battery low

バッテリーの定電圧を設定します。設定した値になるとアラーム音が鳴ります。

## sound off

チェックを入れるとアラーム音が鳴りません。

## Rssi Shutdown

受信機の電源を入れた状態で送信機の電源をシャットダウンしようとする、警告画面が表示されます。シャットダウンが続行されると、シャットダウンを確認する画面が表示され、ENTERを押してシャットダウンするか、またはEXITを押してシャットダウンしないようにすることができます。

## Inactivity

送信機に触れなかった際にアラーム音が鳴るよう時間の設定をします。

## Backlight

スクリーンのバックライトの設定をします。

## Mode

↓

## Off

常時OFF

## Touch

パネルをタッチした際に点灯します。

## Ctrl

スティックやスイッチ（ポットやスライダーではなく）に触れた際に点灯。

## Both

画面やスティック、スイッチに触れた際に点灯します。

## ON

常時点灯

## Duration

点灯する間隔を設定します。

## On brightness

スクリーンをタッチした際の明るさを設定します。

## Off brightness

スクリーンをタッチしていないときの明るさを設定します。

## Alarm

チェックを入れるとアラームが鳴った時に点灯します。デフォルトはオフです

## GPS

GPSの設定をします。

## Time Zone

タイムゾーンを設定します。

## Adjust RTC

チェックを入れると時刻がGPSと同期します。

## GPS Coords

GPS座標形式を選択します。

↓

### DMS

DMSは度、分、秒です。

### NMEA

NMEAは、National Marine Electronics Associationの規格です。

## Country code

カンントリーコードを選択します。

## Voice language

ボイス言語を選択します。

## Units

単位をメートル法か帝国単位のどちらか選択できます。

## Play delay

スイッチが中心位置に設定の時間留まった際、wavファイルを再生させます。

## USB Mode

USBケーブルをコンピューターと送信機に接続したときの動作を選択します。



### Ask(SD Card)

PCとの接続方法を選択する画面が表示されます。

### Joyst

送信機はUSBジョイスティックを使用することができます。

### Serial

PCのシリアルポートと接続する。

## Rx channel ord

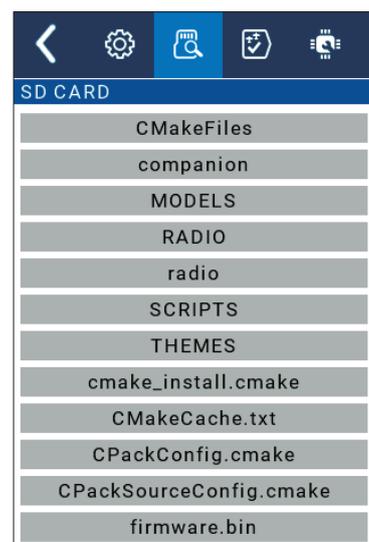
新しいモデルが作成されたときに、Throttle、Aileron、Elevator、およびRudderの各コントロールがチャンネルに割り当てられる順序。お使いのフライトコントローラに合わせて設定してください。

## Mode

送信機のモードを1~4の中で選択します。

## SD-HC CARD SD-HC CARDの画面

この画面にはSDカードの内容が表示されます。



## GLOBAL FUNCTIONS グローバルファンクションの画面

ボリュームコントロール、サウンド、アナウンスなどの機能を起動または有効化するために使用されます。これらは「SPECIAL FUNCTIONS」と同じですが、すべてのモデルに適用されます。

↓ 設定するチャンネルをタッチします。

### Edit 編集

↓ 「Edit」 ボタンをタッチします。

#### Switch

割り当てるスイッチを設定します。

#### Func 機能

↓

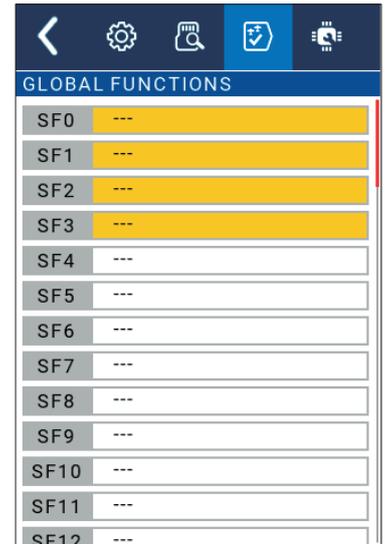
- Trainer** : 全チャンネル有効。個別にトレーナーモードを有効にします。
- Inst. Trim** : 現在のスティック位置をそれぞれのトリムに追加します。
- Reset** : 選択したタイマー値は、モデル設定画面のタイマーパラメータで設定された値にリセットされます。
- Set** : Timer 1, 2, 3のどれかを設定します。
- Volume** : 音量を変更するためにコントロールを割り当てることができます。
- SetFailsfe** : フェイルセーフをスイッチまたは他のコントロールから設定することができます。
- Play Sound** : ドロップダウンパラメーターボックスに表示されているシンプルなサウンドが再生されます。
- Play Track** : SDカードに保存されているサウンドファイルを再生します。利用可能なサウンドのリストがドロップダウンボックスのパラメータ欄に表示されます。
- Play Val** : パラメータメニューで利用可能なコントロールの範囲のいずれかの値を話します。これらには、スイッチまたはジョイスティックの値、テレメトリの値、または時間が含まれます。
- Lua Script** : LUAスクリプトを再生します。※事前にSDカードにLUAスクリプト（コンピュータ言語）を入れる必要があります。
- BgMusic** : 選択した音楽を再生します。
- BgMusic II** : 同上
- Vario** : バリオ（昇降計）は、指定されたスイッチが有効になっているときにだけ鳴ります。
- Haptic** : 送信機のバイブレーション機能に関する設定を行います。
- SD Logs** : データロギングがサンプリングされ保存される頻度を秒単位で設定します。
- Backlight** : 選択し設定した場合、「Radio Settings」メニューで行われた設定を上書きします。

#### Timer

この機能は、指定した間隔でオンまたはオフにするために使用されます。これは、可変のオン時間とオフ時間の両方を持つ繰り返しオン/オフタイマーです。

#### Enable

チェックを入れると有効になります。



## HARDWARE ハードウェアの画面

各スティック/ポット/スイッチの名前や動作方法を設定します。

### Sticks

各スティックの名前を設定します。

### Pots

各ポットの名前や動作方法を設定します。



#### None

使用しない。

#### Pot w. det

センターノッチ付きポテンシオメータ

#### Multipos

6ポジションスイッチ

#### Pot

使用不可

### Switches

各スイッチの名前や動作方法を設定します。



#### None

使用しない。

#### Toggle

トグルスイッチ

#### 2POS

2 ポジションスイッチ

#### 3POS

3 ポジションスイッチ

### ADC filter (アナログ-デジタル変換フィルター)

これにより値が平均化されて平滑化されます。

### Battery calib

電圧計で測定したバッテリー電圧 (送信機用) をここに入力します。

The screenshot shows the 'HARDWARE' settings screen. At the top, there are navigation icons: a back arrow, a gear for settings, a magnifying glass for search, a document for a manual, and a battery icon. Below the title bar, the settings are organized into sections:

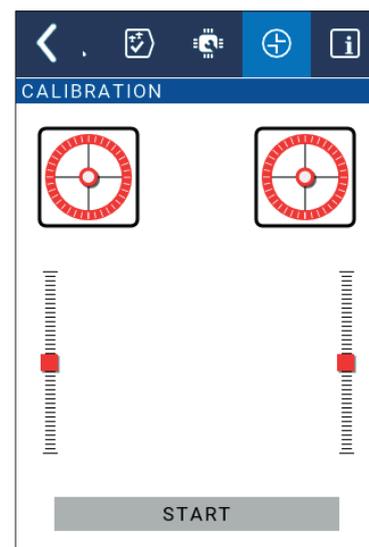
- Sticks:** Four rows, each with a joystick icon and a text input field. The labels are 'Rud', 'Ele', 'Thr', and 'Ail', all currently set to '---'.
- Pots:** Two rows. Each row has a potentiometer icon, a text input field, and a dropdown menu. The labels are 'OS1' and 'OS2', both with '---' in the input fields and 'Pot' in the dropdowns.
- Switches:** Three rows. Each row has a switch icon, a text input field, and a dropdown menu. The labels are 'SA↓', 'SB↑', and 'SC↓', with '---' in the input fields and '2POS', '3POS', and 'Toggle' in the dropdowns respectively.

## CALIBRATION キャリブレーションの画面

スティックとVRA・VRBのキャリブレーションをします。

**START→CENTER STICKS / SLIDERS→MOVE STICK / POTS→Done !**

「START」ボタンを押し、スティックとVRA/VRBをセンターにします。  
その後、「CENTER STICKS / SLIDERS」を押し、「MOVE STICK / POTS」と表示されたら両方のスティックを一番上、一番下、一番左、一番右に動かします。  
すべてのポットとスライダを時計方向いっぱいに動かし、次に反時計回りいっぱいに動かします。完了したら再度「MOVE STICK / POTS」を押し終了となります。



## VERSION バージョンの画面

各種のバージョンを表示します。

### FW Version

ファームウェアのバージョンを表示します。

### Data version

データのバージョン番号を表示します。

### Date

データが作成された日付が表示されます。

### Time

データが作成された時間が表示されます。

### CPU UID

CPUの識別番号が表示されます。

### Quick start guide

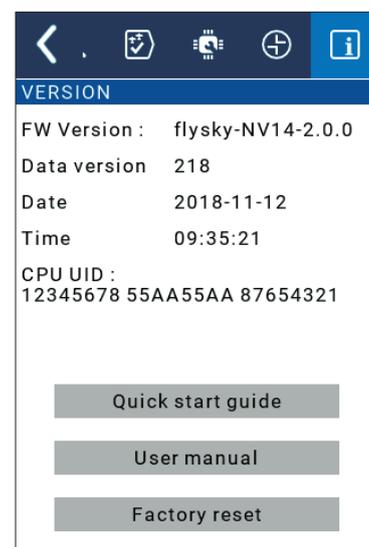
表示されません。

### User manual

表示されません。

### Factory reset

工場出荷状態にリセットされます。



# UI設定について

## User interface ユーザインタフェース

背景色や画面のレイアウトを設定します。※背景画像を変更すると背景色とメインカラーの変更が適用されます。

### Bg color 背景色

背景色は光の三原色「R（赤）・G（緑）・B（青）」の値を設定して変更します。

### Main color メインカラー

メインカラーは光の三原色「R（赤）・G（緑）・B（青）」の値を設定して変更します。

### Main view 1 メイン画面 1

メイン画面表示の設定を行います。



#### Layout レイアウト

5種類の画面レイアウトが選択できます。レイアウトに合わせて選択項目が変わります。

#### Top bar トップバー

トップバーの表示の有無

#### Flight mod フライトモード

フライトモードを設定している場合のみ表示します。

#### Sliders スライダー

VRAとVRBのインジケータ表示の有無

#### Trims トリム

トリムのインジケータ表示の有無

#### Panel1 bac パネル1

使用しません。

#### Color 色

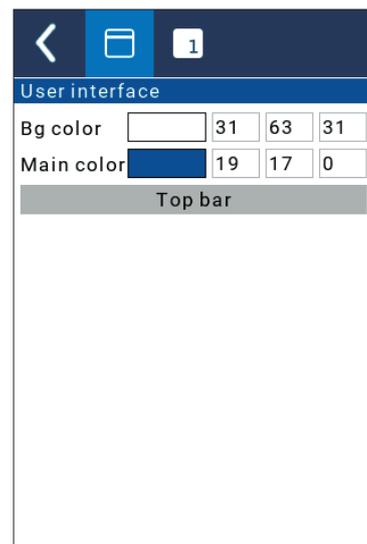
使用しません。

#### Panel2 bac パネル2

使用しません。

#### Color 色

使用しません。





# 京商スペアパーツ・オプションパーツの購入方法

※これらの購入方法は日本国内に限らせていただきます



- 部品をこわしたり、なくしてしまった場合でもスペアパーツやオプションパーツを購入し、元どおりに直す事ができます。
- パーツはお店で直接購入していただくか、お店に行けない場合は、京商オンラインショップで購入することができます。
- 商品のご購入に際しては商品代金(税込)とは別に発送手数料が必要です。

※お支払い方法により発送手数料が異なりますので下記の注文専用電話にてご確認ください。  
※お届け予定日数は夏・冬期休業または交通事情等運送上の理由により、遅れる場合がございますのであらかじめご了承ください。

## 1.まずはお店でお求めください。

まずは、お近くのお店か、この商品をお買い求めいただいたお店にご来店ください。ご希望のパーツの在庫があれば即購入できます。その際に組立/取扱説明書をお持ちになると購入がスムーズになります。



お店で在庫切れの場合でも京商の『オンラインパーツ直送便』※でお店から京商へ申し込みます

お店でご希望のパーツがたまたま品切れだった場合でも、京商の『オンラインパーツ直送便』※を利用すればその場で注文できます。『オンラインパーツ直送便』は、ご希望のパーツの品番や数量等を直接お店にご注文してください。在庫確認後代金をお支払いいただければ結構です。お客様のご自宅か、お店にお届けします。

※一部取扱っていないお店もございます。

A: 取扱説明書で必要なパーツの品番と数量を確認する。

B: お店で必要なパーツを注文し代金を支払う。

C: ご注文から約3~4日でお客様のご自宅か、お店にお届けします。



オンラインパーツ直送便取扱店はこのステッカーが目印です。



## 2.お店に行けない場合は 次の方法で京商から通信販売で購入できます。

お店に行けない場合は、京商ホームページからお申し込みください。

### インターネットで京商に申し込む



<http://rc.kyosho.com>

インターネットでお申し込みの場合は2種類(各社クレジットカード、代引支払い)からお選びいただけますのでご利用ください。



京商株式会社

〒243-0021 神奈川県厚木市岡田3050 厚木アクストメインタワー7F

●お問い合わせはユーザー相談室まで

電話 046-229-4115 受付時間：月～金曜(祝祭日を除く)13:00～18:00





京商ホームページ  
[www.kyosho.com](http://www.kyosho.com)

メーカー指定の純正部品を使用して  
安全にR/Cを楽しみましょう。

京商株式会社

〒243-0021 神奈川県厚木市岡田3050 厚木アクストメインタワー7F

●ユーザー相談室直通電話 046-229-4115

お問い合わせは：月曜～金曜(祝祭日を除く)13:00～18:00

32681905-1 PRINTED IN CHINA